

# 資料編

# 公益財団法人 大阪ガス国際交流財団 定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人大阪ガス国際交流財団(英文名Osaka Gas Foundation Of International Cultural Exchange略称「OGFICE」と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を大阪府大阪市に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、南東アジア及び大洋州地域の天然ガス産出国において教育・学術・科学技術分野の助成を行い、わが国との国際相互理解を深め、国際親善に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学校等を対象とする教育機材の助成及び生徒・学生を対象とする奨学金の支給
- (2) 学術・科学技術分野の試験研究に対する助成
- (3) 学生、教師、技術者及び研究者の研修に関する助成
- (4) その他この法人の目的を達するために必要な事業

2 前項の事業については本邦及び海外において行うものとする。

## 第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠なものとして理事会で別に定める財産をもって基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(特定資産等)

第6条 基本財産以外の財産は、特定資産及び運用財産とする。

2 特定資産は、この法人が特定の目的のために保有する財産で、その取扱いについては理事会で別に定める。

3 運用財産は、基本財産及び特定資産以外の財産とする。

(財産の管理)

第7条 この法人の財産の管理・運用は、専務理事が行うものとし、その方法は理事会で別に定める。

(事業年度)

第8条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第9条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、代表理事が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

3 第1項の書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

第10条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、代表理事が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書(正味財産増減計算書)
- (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第11条 代表理事は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（以下「認定法施行規則」という。）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

## 第4章 評議員

(評議員の定数)

第12条 この法人に評議員5名以上8名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第13条 評議員の選任及び解任は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）第179条から第195条の規定に従い、評議員会において行う。

2 評議員を選任する場合には、次の各号の要件をいずれも満たさなければならない。

- (1) 各評議員について、次のイからハに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
  - イ 当該評議員及びその配偶者又は3親等内の親族
  - ロ 当該評議員と婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者
  - ハ 当該評議員の使用人
  - ニ ロ又はハに掲げる者以外の者であって、当該評議員から受ける金銭その他の財産によって生計を維持しているもの
  - ホ ハ又はニに掲げる者の配偶者
  - ヘ ロからニに掲げる者の3親等内の親族であって、これらの者と生計を一にするもの
- (2) 他の同一の団体（公益法人を除く。）の次のイからニに該当する評議員の合計数が評議員の総数の3分の1を超えないものであること。
  - イ 理事
  - ロ 使用人
  - ハ 当該他の同一の団体の理事以外の役員（法人でない団体で代表者又は管理人の定めのあるものにあつては、その代表者又は管理人）又は業務を執行する社員である者
  - ニ 次の団体において職員（国会議員及び地方公共団体の議会の議員を除く。）である者
    - ① 国の機関
    - ② 地方公共団体
    - ③ 独立行政法人通則法第2条第1項に規定する独立行政法人
    - ④ 国立大学法人法第2条第1項に規定する国立大学法人又は同条第3項に規定する大学共同利用機関法人
    - ⑤ 地方独立行政法人法第2条第1項に規定する地方独立行政法人
    - ⑥ 特殊法人又は認可法人

3 評議員に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記事項証明書等を添え、遅滞なくその旨を行政庁に届け出るものとする。

(評議員の任期)

第14条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終年度に関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第12条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第15条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を超えない額で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を行うために要する費用の支払いをすることができる。

## 第5章 評議員会

(構成)

第16条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第17条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 評議員の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の選任及び解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (5) 貸借対照表及び損益計算書(正味財産計算書)の承認
- (6) 定款の変更
- (7) 残余財産の処分
- (8) 基本財産の処分又は除外の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第18条 評議員会は、定時評議員会として毎事業年度終了後3ヶ月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第19条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(招集の通知)

第20条 理事長は、評議員会の開催日の1週間前までに、評議員に対して、書面で招集の通知を発しなければならない。

(評議員会の議長)

第21条 評議員会の議長は、評議員会において互選する。

(決議)

第22条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第24条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第23条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議事録には、議長及び会議に出席した評議員のうちから評議員会において選出された議事録署名人2名が記名押印する。

## 第6章 役員

(役員を設置)

第24条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 5名以上8名以内
- (2) 監事 3名以内

- 2 理事のうち1名を理事長、1名を専務理事とする。
- 3 前項の理事長及び専務理事をもって法人法上の代表理事とする。

(役員を選任)

第25条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び専務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、この法人の理事又は使用人を兼ねることができない。
- 4 各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族その他特別の関係がある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。
- 5 他の同一の団体(公益法人を除く。)の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にある者である理事の合計数は、理事の総数の3分の1を超えてはならない。監事についても、同様とする。
- 6 理事又は監事に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記事項証明書等を添え、遅滞なく、その旨を行政庁に届け出なければならない。

(理事の職務及び権限)

第26条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長及び専務理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 専務理事は、理事長を補佐し、理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 4 理事長及び専務理事は、毎事業年度に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第27条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第28条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。
- 3 任期の満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された理事又は監事の任期は、退任した理事又は監事の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第24条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第29条 理事又は監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

- 2 監事を解任する場合の決議は、議決に加わることができる評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

(役員報酬等)

第30条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

- 2 役員には、その職務を行うために要する費用を支払うことができる。

(役員損害賠償責任の一部免除)

第31条 この法人は、理事及び監事の法人法第198条において準用する同第111条第1項の損害賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

## 第7章 理事会

(構成)

第32条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第33条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
  - (2) 理事の職務の執行の監督
  - (3) 理事長及び専務理事の選定及び解職
- 2 理事会は、次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を、理事に委任することができない。
- (1) 重要な財産の処分及び譲受け
  - (2) 多額の借財
  - (3) 重要な使用人の選任及び解任
  - (4) 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他この法人の業務の適正を確保するために必要なものとして法令で定める体制の整備
  - (5) 第31条の規定に基づく役員等の損害賠償責任の免除

(招集)

第34条 理事会は、毎事業年度2回以上、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、専務理事が理事会を招集する。
- 3 第1項の規定にかかわらず、次の各号の一に該当する場合には、理事長は、その請求があった日から2週間以内に臨時理事会を招集しなければならない。
  - (1) 理事長以外の理事から会議の目的である事項を示して、理事長に招集の請求があったとき
  - (2) 法令に基づき監事から理事長に招集の請求があったとき
- 4 前項の請求があった日から5日以内に、その請求の日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合には、その請求をした理事又は監事は、臨時理事会を招集することができる。
- 5 理事会を招集するときは、開催日の1週間前までに、各理事及び各監事に対して通知しなければならない。

(理事会の議長)

第35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、専務理事が議長を代行する。

(決議)

第36条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その事項について議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものと見なす。ただし、監事がその提案について異議を述べたときは、この限りでない。

(議事録)

第37条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した代表理事及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第8章 事務局

(設置等)

第38条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第39条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第13条についても適用する。

(解散)

第40条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第41条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合(その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。)には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(以下「認定法」という。)第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第42条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第10章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

## 第11章 補則

(委任)

第44条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

## 附則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(以下「整備法」という。)第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第8条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の最初の代表理事(理事長)は尾崎裕、代表理事(専務理事)は中島浩とする。
- 4 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

坪内 良博 永井 康雄 新野 幸次郎 矢吹 萬壽 米澤 健一 野村 明雄 黒田 晶志

年 度	インドネシアへの助成	マレーシアへの助成
1992 平成4年 9月設立		
	ボンタン地区・ロスマウエ地区ダルマ・プルサダ大学へ教育機材助成開始 バンドン工科大学とボゴール農業大学へ試験研究助成開始 ボンタン・ロスマウエ・ムラワルマン大学・シャクアラ大学へ奨学金助成開始 12月 ジャカルタ・ボンタン・ロスマウエで第一回贈呈式	
1993 平成5年	インドネシア大学へ試験研究助成開始	
1994 平成6年	ダルマ・プルサダ大学への教育機材助成終了	
1995 平成7年		
1996 平成8年	特別助成 ボンタン・ロスマウエ地区へ音楽童話『コモドのたび』贈呈	
1997 平成9年	特別助成 ブルースカイセミナー(3大学合同)開催	
1998 平成10年	特別助成 インドネシア大学Student Safety Net プログラムに助成	
1999 平成11年		サラワク大学へ研修助成実施
2000 平成12年	特別助成 アチェ地区紛争被害校へ教育機材助成実施	サラワク大学へ奨学金助成開始
2001 平成13年		
2002 平成14年 10周年	財団設立10周年特別助成の実施 アチェ・大阪教育文化財団設立援助	
2003 平成15年	日本紹介誌『にっぽにあ』贈呈	サラワク大学へ研修助成実施
2004 平成16年	テルブカ大学へ教育機材助成開始 インドネシア科学院LIPIへ試験研究助成実施 インドネシア・スマトラ沖大地震特別支援(テルブカ大学アチェ分校)	マレーシア教育省へ教育機材助成開始
2005 平成17年		
2006 平成18年	テルブカ大学へマルチメディア技術研修助成開始 インドネシア・スマトラ沖大地震特別支援(ジャンボミンダ財団)	
2007 平成19年	ジャンボミンダ財団へ教育機材・奨学金助成開始 特別助成 アチェ地区防災教育	特別助成 マレーシア教育省フォローアップ研修 特別助成 マレーシア教育省防災教育
2008 平成20年	インドネシア大学大学院へ日本語研修助成開始	
2009 平成21年		
2010 平成22年		
2011 平成23年		
2012 平成24年 20周年		

東ティモールへの助成	世界と南東アジアの出来事	日本の出来事
	ブラジル・リオデジャネイロで地球サミット開催	日本ODA大綱策定 PKO協力法成立
	EC統合市場発足	先進国首脳会議(東京サミット)
		関西空港開港
	国連創設50周年	阪神・淡路大震災 APEC大阪会議
	東ティモール人権活動家にノーベル賞	APEC蔵相京都会議
	アジア通貨危機発生 インドネシア・ルピア通貨暴落、経済停滞 インドネシア・スハルト大統領退陣、アチェ治安悪化 インドネシア・アチェ紛争(1998～2000年)	アジア緊急融資・信用供与 地球温暖化防止京都会議 長野冬季オリンピック
	国連東ティモール・ミッション(UNMIT)設立 国連監視下で東ティモール住民投票、独立承認 国連ミレニアムサミット	国際協力銀行設立 沖縄サミット
	アメリカ同時多発テロ・米国緊急利下げ インドネシア・メガワティ政権発足	USJ開園
	インドネシア・アチェ和平協定、紛争継続 東ティモール民主共和国独立	国際エネルギーフォーラム(大阪)
	感染症SARS流行、米英イラク侵攻開始 マレーシア・マハティール首相退任 インドネシア・ユドヨノ政権発足 インドネシア・スマトラ島沖大地震、アチェ津波被害	JICA独立行政法人化 新潟県中越地震 東北楽天ゴールデンイーグルス誕生
	インドネシア・アチェ和平協定成立・武装放棄	愛知万博(愛・地球博)
	東ティモール治安悪化、国際治安部隊派遣 インドネシア・ジャワ島中部地震	日本銀行 量的金融緩和と政策を解除 自民党 第1次安倍内閣発足
	サブプライム問題発覚	新潟県中越沖地震 日本郵政公社民営化
	リーマンショック発生	洞爺湖サミット 公益法人制度改革関連法・公益認定開始
	ドバイショック発生	民主党 鳩山内閣発足
	欧州ソブリン危機 東ティモール政府「開発計画」発表	公益財団法人大阪ガス国際交流財団 登記 東日本大震災
東ティモール大学へ奨学金及び研修助成開始	東ティモール独立10周年、大統領選挙、UNMIT終了	自民党 第2次安倍内閣発足

理事長	
大西 正文	1992年 9月～2006年 3月
芝野 博文	2006年 4月～2009年 9月
(堀田専務理事代行)	2009年10月～2010年 3月
尾崎 裕	2010年 4月～2013年 6月
酒井 孝志	2013年 6月～

専務理事	
諏訪 秀行	1992年 9月～1995年 3月
脇坂 稔	1995年 3月～1999年 3月
九津見 明	1999年 3月～2003年 3月
江口 洋英	2003年 3月～2006年 3月
堀田 真司	2006年 4月～2010年 3月
中島 浩	2010年 4月～

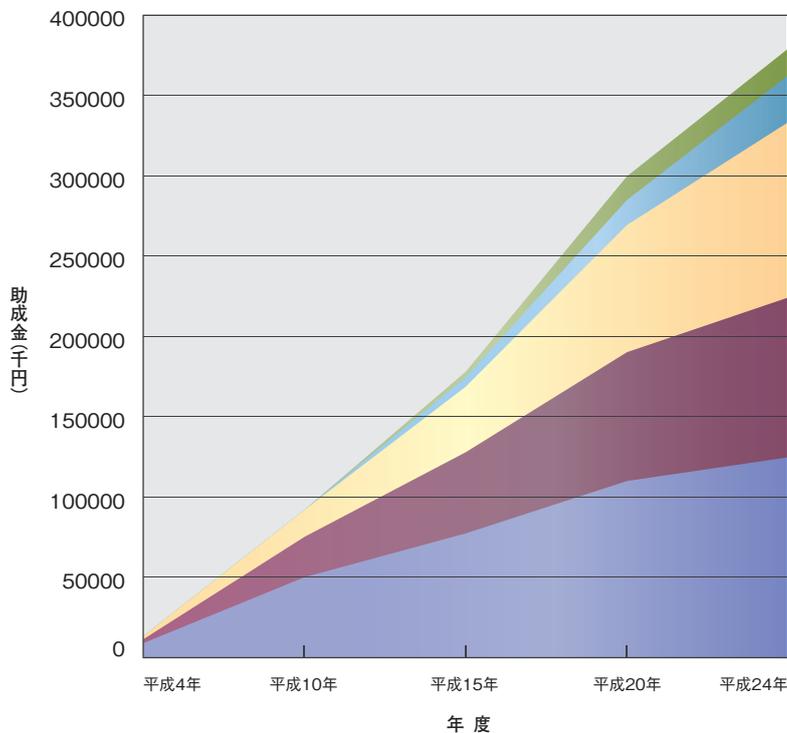
理事	
安部川 澄夫	1992年 9月～2006年 3月
市村 眞一	1992年 9月～
金森 茂一郎	1992年 9月～2004年10月
小林 庄一郎	1992年 9月～2008年 3月
橋本 利一	1992年 9月～2000年 3月
柳谷 謙介	1992年 9月～2011年 6月
坂本 吉弘	2000年 4月～
辻井 昭雄	2005年 3月～
藤 洋作	2008年 4月～

監事	
小林 太郎	1992年 9月～1995年 3月
西川 正澄	1992年 9月～1994年 3月
俣野 芳樹	1994年 4月～2011年 6月
大石 憲司	1995年 3月～2002年 3月
日笠 敬三	2002年 4月～2005年 3月
和田 秋夫	2005年 3月～2009年 3月
鶴飼 昭生	2009年 3月～2011年 6月
亀井 信吾	2011年 6月～
嶋田 薫	2011年 6月～

評議員			
北山 恒満	1992年 9月～1996年 3月	岡田 達郎	1999年 3月～2000年 3月
山藤 泰	1992年 9月～1995年 3月	佐藤 守弘	1999年 3月～2004年 3月
島崎 要	1992年 9月～1997年 3月	田邊 隆治	2000年 4月～2003年 3月
土屋 健治	1992年 9月～1995年 2月	石井 芳昭	2001年 3月～2003年 3月
豊永 恵哉	1992年 9月～1997年 3月	服部 信彦	2001年 3月～2002年 3月
新野 幸次郎	1992年 9月～	吉岡 征四郎	2002年 4月～2003年 3月
矢吹 萬壽	1992年 9月～2011年12月	可児 晋	2003年 3月～2005年 3月
領木 新一郎	1992年 9月～2010年 3月	西浦 洋	2003年 3月～2005年 3月
中野 文彦	1995年 3月～1997年 3月	米澤 健一	2003年 3月～
千葉 武志	1996年 4月～1998年 3月	上野 征夫	2005年 3月～2006年 6月
坪内 良博	1996年 4月～	楨野 勝美	2005年 3月～2010年 3月
上原 尚剛	1997年 3月～1998年 3月	片山 善朗	2006年 6月～2009年 3月
榊原 勝朗	1997年 3月～1999年 3月	小宮 修	2009年 4月～2010年 3月
吉川 素三	1997年 3月～2001年 3月	永井 康雄	2010年 4月～
鳥海 正義	1998年 4月～1999年 3月	野村 明雄	2010年 4月～
増田 徹郎	1998年 4月～2001年 3月	黒田 晶志	2010年 4月～

(年月は在任期間)(就任年・五十音順)

助成金の分野別推移(累積) 設立以来20年間の助成金の推移(H4~H24年度)

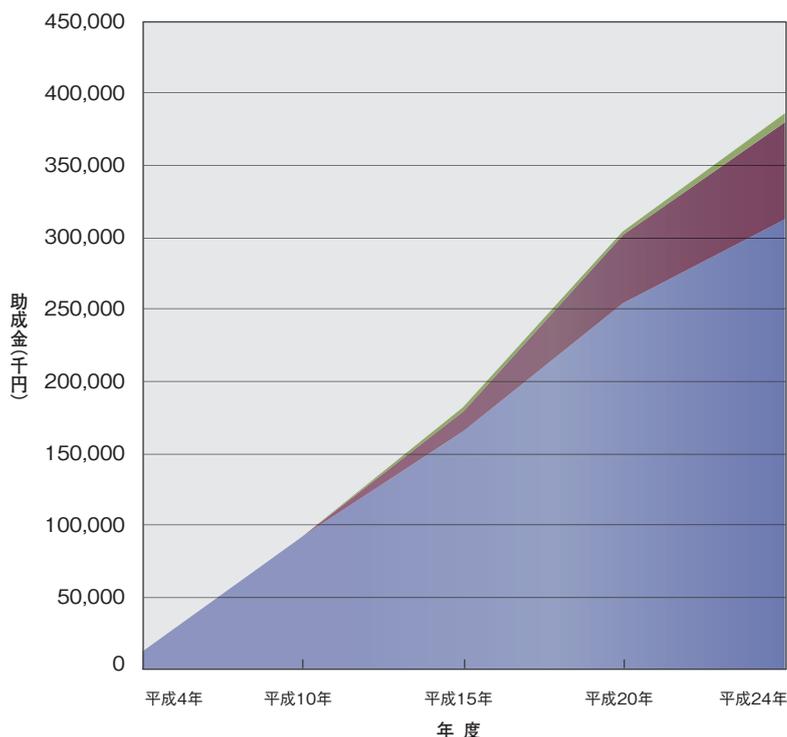


- その他
- 研修
- 奨学金
- 試験研究
- 教育機材

	平成4年	平成10年	平成15年	平成20年	平成24年
教育機材	9,126	50,551	78,043	110,930	125,820
試験研究	2,416	25,318	50,963	80,883	100,319
奨学金	1,976	16,990	41,156	79,868	110,064
研修	0	0	5,995	15,712	29,384
その他	0	0	3,408	14,883	16,846
合計	13,518	92,859	179,565	302,276	382,433

(単位:千円)

助成金の国別推移(累積) 設立以来20年間の助成金の推移(H4~H24年度)



- 東ティモール
- マレーシア
- インドネシア

	平成4年	平成10年	平成15年	平成20年	平成24年
インドネシア					
教育機材	9,126	50,551	78,043	103,173	115,235
試験研究	2,416	25,318	50,963	77,762	92,366
奨学金	1,976	16,990	33,328	57,555	78,313
研修	0	0	0	5,902	16,169
その他	0	0	3,408	12,181	13,465
インドネシア	13,518	92,859	165,742	256,573	315,548
マレーシア					
教育機材	0	0	0	7,757	10,585
試験研究	0	0	0	3,121	7,953
奨学金	0	0	7,828	22,313	30,789
研修	0	0	5,995	9,810	13,215
その他	0	0	0	2,702	3,381
マレーシア	0	0	13,823	45,703	65,923
東ティモール					
奨学金	0	0	0	0	962
東ティモール	0	0	0	0	962
合計	13,518	92,859	179,565	302,276	382,433

(単位:千円)

## 研修助成実績(サラワク大学)

年度	期間		研修生		研修内容
平成11年度	1999年	11/9-11/19	Dr. Ha How Ung Mr. Nazeri Abdul Rahman	工学部講師 工学部講師	サラワク大学エネルギー研究センター 設立準備のため知識取得 ・センサー技術 ・モニタリング技術 ・エネルギー研究、管理、監査 (研修先:大阪ガス)
平成12年度	2000年	11/8-11/30	Ms. Sakena Abdul Jabar Ms. Rubiyah Bains Ms. Mahshuri Yusof	工学部講師 工学部講師 工学部助手	ガス供給関連技術に関する 知識の取得 ・導管建設技術 ・導管診断技術 ・導管保全技術 ・ガス供給安全技術 (研修先:大阪ガス)
平成13年度	2002年	2/12-2/21	Ir. Dr. Wan Ali Wan Mat Mr. Nazeri Abdul Rahman	副工学部長 工学部講師	ガス・石油・化学工学関連学科 設立準備のための情報収集 (研修先:大阪ガス他、関西5大学)
平成15年度	2003年	10/18-10/29	Dr. Mohamad Kadim Suaidi Dr. Awangku Abdul Rahman Yusof	工学部長 副学部長	大学・大学院でのコース履修 システムについて情報収集 (研修先:早稲田大学他2校、 三菱電機名古屋、ヤマザキマザック)
平成16年度	2004年	10/24-11/12	Ass.Prof.Dr. Sinin Hamdan	工学部 助教授	SPS(Solar Power Station) 研究視察宇宙に設置した 太陽電池アンテナからマイクロ波で 地上へエネルギーを伝送するシステム (研修先:京都大学 生存圏研究所)
	2005年	1/24-1/28	Dr. Mohd Shahril Osman	工学部講師	エネルギー分野の新技术視察 発電、再生エネルギー、モーター、 発電機等 (研修先:独 Leybold Didantic GMBH社、 University of Applied Science Karlsruhe)
平成18年度	2006年	8/21-9/1	Dr. Shanti Faridah Binti Salleh Dr. Ervina Binti Junaidi	工学部講師	再生エネルギー・燃料電池の研究研修 (研修先:九州大学 応用化学科 石原達己研究室)

## 研修助成実績(テルブカ大学)

年度	期間		研修機関	研修生		研修内容
平成18年度	2007年	1/21-1/27	(財)日本国際協力センター沖縄支所	Mr. Mohammad Sunardianto Ms. Nova Ade Yunita Abidin	マルチメディア制作センタースタッフ	ビデオ制作基礎技術 その他基礎事項
平成19年度	2008年	1/27-2/9	(財)日本国際協力センター沖縄支所	Mr. Candra Wibawa Mr. Arba Rustian Mr. Supriadi Mr. Anggiat Mangapul	マルチメディア制作センタースタッフ	コミュニケーション理論、 視覚原理 教育メディア開発および 解説デザインの実習 デジタル写真 ウェブサイト制作
平成20年度	2009年	2/15-2/28	(財)日本国際協力センター沖縄支所	Ms. Kristina Anugerah Aji Mr. Pujo Cahyono Ms. Suparmi Ms. Zulkarnaini	マルチメディア制作センタースタッフ	コミュニケーション理論、 視覚原理 教育メディア開発および 解説デザインの実習 デジタル写真 ウェブサイト制作 Adobe Flash
平成21年度	2010年	2/14-2/27	(財)日本国際協力センター沖縄支所	Mr. Pudji Setyo Djumadi Mr. Priyo Sucahyo	マルチメディア制作センタースタッフ	コミュニケーション理論、 視覚原理 デジタルビデオ制作技術 その他基礎事項
平成22年度	2011年	2/13-3/3	(財)日本国際協力センター沖縄支所	Mr. Marjaya Mr. Lili Sutrisna Mr. Donni Romdoni Ms. Asnah Marlina Nellawaty Limbong	マルチメディア制作センタースタッフ	コミュニケーション理論、 視覚原理 デジタルビデオ制作技術 その他基礎事項
平成23年度	2012年	1/15-1/28	(財)NHKインターナショナル	Mr. Leman Mr. Anjar Kuncono Mr. Al Hafid Mr. Suryo Prabowo	マルチメディア制作センタースタッフ	カメラワーク、編集、 番組制作 短編ビデオ番組制作 NHK放送センター見学 放送大学千葉学習センター見学
平成24年度	2013年	3/11-5/24	I-Tech Center -Smart Training Solution (in Jakarta and in Batam, Indonesia)	計10名	マルチメディア制作センタースタッフ	3DMAX technique Animation Production

## 事業分野別助成実績

## 1. 教育機材の助成

回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
助成年度	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年
	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年
ボンタン地区	2,833	4,057	3,204	3,026	2,913	3,683	2,572	3,521	3,240	2,799
ロスマウエ地区	3,875	3,895	3,585	2,639	2,771	3,240	3,162	3,244	2,614	2,524
ダルマ・プルサダ大学	2,418	829	969							
テルプカ大学										
アチェ地区										
マレーシア教育省										
特別プログラム					880				994	
につぼにあ										
合計	9,126	8,781	7,758	5,665	6,564	6,923	5,734	6,765	6,848	5,323

## 2. 試験研究に対する助成

バンドン工科大学	1,208	1,059	934	828	1,183	1,279	1,478	1,377	1,398	1,543
ボゴール農業大学	1,208	1,058	935	828	1,183	1,279	1,478	1,377	1,398	1,636
インドネシア大学		1,058	934	828	1,184	1,279	1,478	1,377	1,398	1,604
インドネシア科学院										
サラワク大学										
特別プログラム						2,619				
合計	2,416	3,175	2,803	2,484	3,550	6,456	4,434	4,131	4,194	4,783

## 3. 奨学金の支給

ボンタン地区高校生	127	280	343	338	512	356	434	543	426	549
ロスマウエ地区高校生	133	294	361	354	516	355	434	544	426	693
ジャクワラ大学	869	866	688	709	1,023	579	818	878	998	1,096
ムラワルマン大学	847	848	674	692	1,001	565	819	879	912	1,107
アチェ地区										
サラワク大学									1,062	2,389
東ティモール国立大学										
特別プログラム							1,155			
合計(金額)	1,976	2,288	2,066	2,093	3,052	1,855	3,660	2,844	3,824	5,834
合計(人数)	84	108	132	132	152	152	290	280	345	390

## 4. 研修助成

テルプカ大学										
日本語短期研修										
アチェ地区										
サラワク大学								1,349	2,428	1,245
サラワク州遠隔地プロジェクト										
合計(金額)	0	0	0	0	0	0	0	1,349	2,428	1,245
合計(人数)	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2

## 5. その他助成

新財団設立基金										
スマトラ沖地震特別支援 公開大学										
スマトラ沖地震特別支援 ジャクワラ大学										
スマトラ沖地震特別支援 アチェ地区										
防災教育										
サラワク州遠隔地プロジェクト										
日本語短期研修										
新規事業調査										
合計(金額)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助成総額	13,518	14,244	12,627	10,242	13,166	15,234	13,828	15,089	17,294	17,185

(単位:千円)

第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	累 計
平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	
2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	
0	2,631	2,723	2,901	3,243	2,545	1,638	1,418	1,562	1,491	1,364	53,364
0											31,549
											4,216
		2,367	2,239	2,650	1,500	1,167	468	1,400	1,308	1,248	14,347
					469	329	281	538	342	642	2,601
		1,394	1,434	1,578	1,712	1,639	1,057	1,194	233	344	10,585
5,692											7,566
	233	270	266	262	281	280					1,592
<b>5,692</b>	<b>2,864</b>	<b>6,754</b>	<b>6,840</b>	<b>7,733</b>	<b>6,507</b>	<b>5,053</b>	<b>3,224</b>	<b>4,694</b>	<b>3,374</b>	<b>3,598</b>	<b>125,820</b>

1,280	1,412	1,390	1,552	1,747	1,658	1,463	1,089	1,255	1,250	1,274	27,657
1,151	1,412	1,390	1,552	1,747	1,658	1,488	1,089	1,255	1,250	1,274	27,646
1,280	1,412	1,390	1,552	1,747	1,658	1,488	1,089	1,253	1,252	1,274	26,535
		1,084	1,072	1,163							3,319
					1,633	1,488	1,037	1,255	1,251	1,289	7,953
4,590											7,209
<b>8,301</b>	<b>4,236</b>	<b>5,254</b>	<b>5,728</b>	<b>6,404</b>	<b>6,607</b>	<b>5,927</b>	<b>4,304</b>	<b>5,018</b>	<b>5,003</b>	<b>5,111</b>	<b>100,319</b>

585	705	762	1,164	1,185	947	690	618	1,386	1,295	1,235	14,480
718	755	676	975	991	898	655	597	840	785	761	12,761
1,116	1,149	1,034	1,506	1,545	1,382	1,010	906	1,341	1,243	1,198	21,954
1,116	1,143	1,019	1,471	1,533	1,379	1,010	918	1,341	1,243	1,332	21,849
					1,408	987	899	1,042	910	868	6,114
2,308	2,069	2,580	2,586	2,815	3,131	3,373	2,329	2,007	2,028	2,112	30,789
										962	
											1,155
<b>5,843</b>	<b>5,821</b>	<b>6,071</b>	<b>7,702</b>	<b>8,069</b>	<b>9,145</b>	<b>7,725</b>	<b>6,267</b>	<b>7,957</b>	<b>7,504</b>	<b>8,468</b>	<b>110,064</b>
<b>390</b>	<b>400</b>	<b>423</b>	<b>432</b>	<b>432</b>	<b>495</b>	<b>493</b>	<b>412</b>	<b>483</b>	<b>442</b>	<b>462</b>	<b>6,929</b>

				1,243	2,674	1,985	919	1,802	1,886	1,878	12,387
								1,111	1,167	1,143	3,421
										361	361
	973	1,201	1,272	1,342							9,810
								625	1,419	1,361	3,405
<b>0</b>	<b>973</b>	<b>1,201</b>	<b>1,272</b>	<b>2,585</b>	<b>2,674</b>	<b>1,985</b>	<b>919</b>	<b>3,538</b>	<b>4,472</b>	<b>4,743</b>	<b>29,384</b>
<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>6</b>	<b>7</b>	<b>45</b>

3,408											3,408
		0									0
		1,984	2,500	2,400							6,884
					282	206	103				591
					974	983	403				2,360
					276	469	276				1,021
						1,287	1,181				2,468
					114						114
<b>3,408</b>	<b>0</b>	<b>1,984</b>	<b>2,500</b>	<b>2,400</b>	<b>1,646</b>	<b>2,945</b>	<b>1,963</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>16,846</b>
<b>23,244</b>	<b>13,894</b>	<b>21,264</b>	<b>24,042</b>	<b>27,191</b>	<b>26,579</b>	<b>23,635</b>	<b>16,677</b>	<b>21,207</b>	<b>20,353</b>	<b>21,920</b>	<b>382,433</b>

## 1992-2012(21年間)教育機材 助成品数(ボンタン地区)

学校数(延べ数)	小学校	中学校	高校・大学	合計	
	99	38	28	165	
品目	本	33,037	2,705	250	35,992
	学習及び教室用品	1,182	1,705	305	3,192
	スポーツ用品	1,146	540	214	1,900
	音楽用品	887	595	119	1,601
	合計	36,252	5,545	888	42,685

## 1992-2001(10年間)教育機材 助成品数(ロスマウエ地区)

学校数(延べ数)	小学校	中学校	高校・大学	合計	
	28	8	3	39	
品目	本	138	258	104	500
	学習及び教室用品	450	5,005	12	5,467
	スポーツ用品	106	278		384
	音楽用品	0	0		0
	合計	694	5,541	116	6,351

## 2004-2012(9年間)教育機材 助成品数(テルブカ大学)

品目	個数
パソコン	30
ハードディスク	2
ストレージサーバー	1
レコーダー	5
モニター	5
プリンター	6
スキャナー	1
カメラ	1
カメラレンズ	1
カセットプレーヤー	2
ミキサー	2
スピーカー	17
ソフトウェア	5
周辺機器	24
撮影機材	11
合計	113

## 2004-2011(8年間)教育機材 助成先学校(マレーシア教育省)

2004年、2005年、2006年	2007年、2008年、2009年	2010年-2012年
<b>BINTULU</b>	<b>BINTULU</b>	<b>BINTULU</b>
1 SK PANDAN	1 SK KG. NYALAU, BINTULU	15
2 SK KUALA NYALAU	2 SK SG. SETIAM, BINTULU	<b>MIRI</b>
3 SK ULU KAKUS	3 SK KUALA BINYO, SEBAUH	15
4 SK KUALA TATAU	4 SK BUKIT BALAI, SEBAUH	<b>KUCHING</b>
5 SK KUALA ANNAU	5 SK RUMAH BARRAU, TATAU	5
6 SK NANGA TAU		<b>SAMARAHAN</b>
7 SK KUALA KEBULU	<b>MIRI</b>	5
8 SK HERMANUSS ASSAN	1 SK KUALA BARAM, MIRI	*学校名リスト送付なし。
9 SK BUKIT MAWANG	2 SK UBONG IMANG, BARAM	
10 SK SUNGAI GENAAN	3 SK LEPONG AJAI, MIRI	
<b>MIRI</b>	4 SK SG BAKAS, SUBIS	
1 SK PENGELAYAN	5 SK BELIAU ISA, SUBIS	
2 SK SUNGAI ARANG	<b>KUCHING</b>	
3 SK RUMAH GUDANG	1 SK ST. GREGORY GIAM, PADAWAN	
4 SK DATO' SHARIF HAMID	2 SK SIBU LAUT, PADAWAN	
5 SK KAMPUNG SELANYAU	3 SK SAMPADI, LUNDU	
6 SK BEKUNU	4 SK STASS, BAU	
7 SK BATU NIAH	5 SK PASIR PANDAK, KUCHING	
8 SK KELAPA SAWIT NO.4	<b>SAMARAHAN</b>	
9 SK KAMPUNG BAKAM	1 SK TANJUNG APONG, SAMARAHAN	
10 SK KAMPUNG BERAYA	2 SK KPG. BARU, SAMARAHAN	
	3 SK SEJIGAG, SERIAN	
	4 SK SAGENG, SIMUNJAN	
	5 SK ENTAYAN, SERIAN	

# 奨学金支給実績

地区学生 年度 (平成)	ボンタン地区高校生			ボンタン地区大学生			ロスマウエ地区高校生			ムラワルマン大大学生			シャクアラ大大学生		
	人数	支給額 Rp./月・人	支給総額 千円/年	人数	支給額 Rp./月・人	支給総額 千円/年	人数	支給額 Rp./月・人	支給総額 千円/年	人数	支給額 Rp./月・人	支給総額 千円/年	人数	支給額 Rp./月・人	支給総額 千円/年
4	10	20,000	127				14	15,000	133	35	35,000	847	25	50,000	869
5	20	20,000	280				28	15,000	294	35	35,000	848	25	50,000	866
6	30	20,000	343				42	15,000	361	35	35,000	674	25	50,000	688
7	30	20,000	338				42	15,000	354	35	35,000	692	25	50,000	709
8	42	20,000	512				42	20,000	516	35	46,000	1,001	33	50,000	1,023
9	42	20,000	356				42	20,000	355	35	46,000	565	33	50,000	579
10	60	40,000	434				60	40,000	434	70	65,000	819	70	65,000	819
11	70	40,000	543				70	40,000	544	70	65,000	879	70	65,000	878
12	70	40,000	426				70	40,000	426	100	65,000	912	100	65,000	998
13	80	45,000	549				100	45,000	693	100	70,000	1,107	100	70,000	1,096
14	80	45,000	585				100	45,000	718	100	70,000	1,116	100	70,000	1,116
15	90	50,000	705				100	50,000	755	100	75,000	1,143	100	75,000	1,149
16	110	50,000	762				100	50,000	676	100	75,000	1,019	100	75,000	1,034
17	120	65,000	1,164				100	65,000	975	100	100,000	1,471	100	100,000	1,506
18	120	65,000	1,185				100	65,000	991	100	100,000	1,533	100	100,000	1,545
19	90	65,000	808	12	100,000	138	100	65,000	898	100	100,000	1,379	100	100,000	1,382
20	90	65,000	589	12	100万/年	101	100	65,000	655	100	100,000	1,010	100	100,000	1,010
21	70	65,000	522	10	100,000	96	80	65,000	597	80	100,000	918	80	100,000	906
22	125	75,000	1,050	20	150,000	336	100	75,000	840	80	150,000	1,341	80	150,000	1,341
23	125	75,000	981	20	150,000	314	100	75,000	785	80	150,000	1,243	40	300,000	1,243
24	125	75,000	936	20	150,000	299	100	75,000	761	80	150,000	1,332	40	300,000	1,198
合計	1,599 人	1,064 百万ルピア	13,195 千円	94 人	278 百万ルピア	1,284 千円	1,590 人	1,011 百万ルピア	12,761 千円	1,570 人	1,641 百万ルピア	21,849 千円	1,446 人	1,643 百万ルピア	21,955 千円

地区学生 年度 (平成)	バンダ・アチェ地区小・中・高・大			サラワク大大学生			東ティモール国立大大学生			平成4年～24年度 金額・人数合計	
	人数	支給額 百万Rp./年	支給総額 千円/年	人数	支給額 RM./年・人 H2~USD/年・人	支給総額 千円/年	人数	支給額 USD/年・人	支給総額 千円/年	金額(千円)	人数
4										1,976	84
5										2,288	108
6										2,066	132
7										2,093	132
8										3,052	152
9										1,855	152
10										2,506	260
11										2,844	280
12				5	7,000	1,062				3,824	345
13				10	7,000	2,389				5,834	390
14				10	7,000	2,308				5,843	390
15				10	7,000	2,069				5,821	400
16				13	7,000	2,580				6,071	423
17				12	7,000	2,586				7,702	432
18				12	7,000	2,815				8,069	432
19	80	120.0	1,408	13	7,000	3,131				9,144	495
20	77	120.0	987	14	7,000	3,373				7,725	493
21	80	96.0	899	12	7,000	2,329				6,267	412
22	66	112.1	1,042	12	2,000	2,007				7,957	483
23	65	104.4	910	12	2,200	2,028				7,504	442
24	65	104.4	868	12	2,200	2,112	20	500	962	8,468	462
合計	433 人	657 百万ルピア	6,114 千円	147 人	1,007,400 リング	30,789 千円	20 人	10,000 USドル	962 千円	108,909 千円	6,899 人

110,064

\* 上記のほか平成10年(1998)インドネシア大学へ特別助成として Rp.2,500,000×30名 1,155,000円の援助を行った。

**1 University of Indonesia** インドネシア大学

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
1	1993	The Effect of Combustion Gases Emission from the Flare Gas to the Environment in Jatibarang Indonesia フレアガス燃焼がインドネシアJatibarang地区の環境に与える影響について	Ir. Suwito M.Sc
2	1994	Determination of Super Compressibility Factor of Indonesian Natural Gas Using The New Modified Burnett Apparatus 改良型バーネット装置を用いたインドネシア産天然ガスの超圧縮特性要因の測定について	Ir. I. Made Kartika D., Dipi. ing
3	1994	Design of CNG Mixer for Otto Mottor オート機関用CNG混合器の設計	Ir. Adi Surjosatyo
4	1995	Flame Characteristic of CNG and LPG CNGとLPGの火炎特性	Dr. Ir. Bambang Sugiarto, M. Eng.
5	1995	Fuel Gas Demand and its Constraint 燃料ガス需要とその制約	Dr. Ir. Tresna P. Soemardi, SE. MS.
6	1995	Research of Materials Corrosion Resistance to be Applied on the high CO <sub>2</sub> and N <sub>2</sub> Content Condition of Indonesian Natural Gas CO <sub>2</sub> 、窒素の含有量の多いインドネシア産天然ガスに適用される耐食性材料の研究	Ir. DMF Luhlima, M. Eng.
7	1996	IN DOOR AIR QUALITY (Comparison Study on Pollutants Emitted From Cooking Gas and Stove Using 2 Different Kind of Fuel Gases) 室内環境 CNGとLNG使用時のコンロからの排出ガスの比較	Ir. Atastina Sri Basuki, M. Sc.
8	1996	The Radioactivity Radon (Rn222) and Lead (Pb210) Effect of Combustion Gases from The Flare to The Environment in Jatibarang フレア燃焼ガス中の放射性ラドン(Rn222)および鉛(Pb210)がジャティバラ地区の環境に及ぼす影響の研究	Dr. Luhantara, M. Sc.
9	1996	Competitive Prototyping of CNG Mixer for Public Passenger Car 公共乗合自動車のためのCNG混合器の試作研究	Ir. Hendri D. S. Budiono, M. Eng.
10	1996	The Influence of CNG Nozzle Mixer Design for Public Passenger Car 公共乗合自動車におけるCNGノズル混合器の設計とエンジン性能関係についての研究	Dr. Ir. Bambang Sugiarto, M. Eng.
11	1997	The Radioactivity Radon Effect of Combustion Gases Emission from The Flare to The Environment in Kotamadya Cilacap Area as Justification of The Data Gathered in Karangampel Area フレア燃焼ガス中の放射性ラドン(Rn222)がKotamadya Cilacap地区の環境に及ぼす影響の調査—Karangampel地区における測定データの検証	Dr. Luhantara, MSc.
12	1997	Performance Analysis of Natural Gas Liquefaction Unit in Liquefied Natural Gas (LNG) Plant by Using its Specific Horse Power 液化天然ガス(LNG)プラントにおける液化天然ガス製造単位当りに要する液化動力の性能分析	Dr. Ir. Andy Noorsaman Sommeng, DEA
13	1997	Process Configuration and Optimization of Operating Conditions Membrane Process 天然ガス精製用膜プロセスのプロセス構成と運転条件の最適化	Dr. Ir. Setijo Bismo, DEA
14	1997	Study of The Pollution of Vehicle Exhaust Emission in University of Indonesia Depok ジャカルタ市の大気汚染の研究例としてのインドネシア大学構内における自動車排気ガス汚染の研究	Dr. Ir. Bambang Sugiarto, M. Eng.
15	1998	Naphthalene Characterization as its Function to Boost Gasoline Octane Number ナフタリンの添加がガソリンのオクタン価を上げる効果及びその特性の研究	Ir. Atastina Sri Basuki, M.Sc
16	1998	the Radioactivity Radon(RN222) Effect of Combustion Gases Emission from The Flare to The Environment in Prabumulih Area as Justification of the Data Gathered both in Karangampel and Cepu Areas, Because the Different Result of Them フレア燃焼ガス中の放射性ラドン(Rn222)がPrabumulih地区の環境に及ぼす影響の研究—Karangampel地区とCepu地区のデータの相違の検証として	Dr. Luhantara,M.Sc
17	1998	The Effect of Temperature CH <sub>4</sub> :O <sub>2</sub> Ratio and Lithium Content of Li/MgO Catalyst on Oxidative Coupling Reaction of Methane 反応温度、CH <sub>4</sub> :O <sub>2</sub> 比、Li/MgO触媒のLi含有量がメタンの酸化カップリング反応に及ぼす影響	Ir. Misri Gozan, M.Tech

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
18	1998	Study on the Flame Quality of Acetylene and Compressed Natural Gas(CNG) with Respect to Metal Cutting and Welding ガス溶接におけるアセチレンと圧縮天然ガスの火炎特性の研究	Ir. Tilani Hamid S., M.Si
19	1999	An Alternative of Ethylene Production by Gas Phase Dehydration of Ethanol over Natural Zeolite as a Catalyst 天然ゼオライトを触媒としてエタノールの気相脱水によるエチレンの代替製造	Ir. Mohammad Nasikin, M.Eng.
20	1999	Effective Production of Synthesis Gas by Direct Partial Oxidation of Methane over Nickel/Alumina Catalyst Promoted by Ru, Pt and Cu ルテニウム、白金、銅を除触媒として添加したニッケルアルミナ触媒を用いた直接部分酸化によるメタンからの効率的な合成ガスの有効な製造	Dr. Widodo Wahyu Purwanto
21	1999	Development of Computer-Aided Simulation for Selection of Oxidative Coupling of Methane Catalysts メタンの酸化カップリング反応に用いる触媒を選択するためのコンピュータを用いたシミュレーションの開発	Ir. Arman Djohan Diponegoro, MSc.
22	1999	Catalyst Preparation and its Study for Nox Elimination in Vehicle Exhaust Gas Emission 自動車排気ガス中の窒素酸化物を除去するための触媒の調製とその研究	Dr. Widajanti Wibowo
23	2000	Development of Support Membrane Base on Silica Materials シリカ薄膜作成方法の開発	Ir. Donanta Dhaneswara, M.Si Ir.Akhadiana Thaib, M.Si
24	2000	Development of High Performance Ni/Zeolite Catalyst for CO <sub>2</sub> Reforming of Methane Reaction メタンのCO <sub>2</sub> 改質のための高性能ニッケル/ゼオライト触媒の開発	Dr. Ir. Sutopo, M.Sc
25	2000	Catalytic Combustion of Methane over La-Cr-O/Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> Catalyst: The Effects of Natural Clay Addition ランタン・クロム酸化物/アルミナ触媒上でのメタンの触媒燃焼:天然粘土添加の効果	Ir. Yuswan Muharam, MT
26	2001	Development of Sulfur-Resistant Catalyst for Diesel Catalytic Converter in Indonesia インドネシアにおけるディーゼルエンジンの触媒変換器用耐硫黄性触媒の開発	Dr. Ir. Mohammad Nasikin
27	2001	Treatment of Wastewater Containing Synthetic Detergent Using Ozonation Technique 合成洗剤を含む廃水のオゾン化技術による処理	Dr. Ir. Setijo Bismo
28	2001	Development of Perovskite Membrane Reactor for Partial Oxidation of Methane to Synthesis Gas メタンの部分酸化による合成ガス製造のためのプロブスカイト薄膜型反応器の開発	Dr. Ir. Widodo Sahyu Purwanto
29	2001	Development of Indoor Air Pollution Control Based on Gas Phase Photo Catalytic Oxidation Employing TiO <sub>2</sub> Thin Film 酸化チタン薄膜を用いた気層光触媒酸化作用による室内有害物質の浄化処理方法の開発	Dr. Jarnuzi Gunlazuardi
30	2002	Photocatalytic Reduction of CO <sub>2</sub> with Titania-based Catalysts チタン触媒の光化学反応によるCO <sub>2</sub> の削減	Ir. Slamet, MT
31	2002	A New Method for the Prediction of Spontaneous Combustion of Coal Based on the Relationship Between Oxygen Consumption and Heat Release Rate 酸素消費と熱放散率の関係を基にした石炭の自発燃焼についての新予測方法	Ir. Yulianto Sulisty Nugroho, MSc., PhD.
32	2002	Magnetizing Kerosene for Increasing Combustion Efficiency 燃焼効率向上のための灯油の磁化	Ir. Nelson Sakson, M.T
33	2003	Flame Stabilization and Combustion Efficiency Improvement in a Sudden Expansion Flow-based Gas Burner (Dump Combustor) 急膨張流量型ガスバーナー(ダンプコンバスター)における火炎の安定化および燃焼効率の向上	Dr. Ir. Harinaldi, M. Eng
34	2003	Gasification Study of Biomass-Palm Oil Empty Fruit Bunch in Downdraft Gasifier ダウンドラフト式ガス化装置を用いたパーム油絞り粕-バイオマスのガス化研究	Dr. Adi Surjosatyo, M. Eng
35	2003	Periodic Illumination as Enhancement Effort of CO <sub>2</sub> Removal and Biomass Production Ability of Micro Algae 周期的光照射による微小藻類のCO <sub>2</sub> 分解及びバイオマス生成能力の増進効果について	Ir. Anondho Wijanarko, M.Eng

**1 University of Indonesia** インドネシア大学

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
36	2003	Utilization of LNG Cold Energy for Cryogenic Power Generation in LNG Receiving Terminal: Case of Java Island ジャワ島LNG受入ターミナルにおける冷熱発電のためのLNG冷熱利用	Kamarza Mulia, Ph.D
37	2004	Alteration of Light Illumination as Enhancement Effort of CO <sub>2</sub> removal and Biomass Production Ability of Micro Algae 微小藻類のCO <sub>2</sub> 除去能力およびバイオマス生成能力を高めるための照射光強度変動の影響について	Ir. Dianursanti, MT.
38	2004	A Sustainable Production of C <sub>3</sub> -C <sub>4</sub> Hydrocarbon from a Renewable Resource with Modified Natural Zeolite 修飾された天然ゼオライトを触媒に、再生可能原料からC <sub>3</sub> -C <sub>4</sub> (炭化水素)の持続可能な生産を行なうための研究	Ir. Setiadi, M.Eng.
39	2004	Heterogeneous Catalysis Methanol Conversion to gasoline hydrocarbons using synthesized $\gamma$ -alumina and Zeolite ZSM-5 as catalysts 合成 $\gamma$ アルミナとZSM-5ゼオライトを触媒に用いた不均一触媒反応による、メタノールからガソリン(炭化水素)への変換研究	Dr. Widayanti Wibowo
40	2004	Modeling of High Pressure Absorption for Methane Production and CO <sub>2</sub> Sequestration. メタンの生産とCO <sub>2</sub> 貯留のための高圧吸収のモデリング	Dr.Ir.Mahmud Sudibandriyo, MSc.
41	2005	Development of a Bench-Scale Adiabatic Calorimeter for Measuring Thermal Runaway Reaction of Coal 石炭の熱暴走反応を計測するための断熱熱量計(ベンチスケール)の開発	Ir. Yulianto Sulisty Nugroho, M.Sc, Ph.D.
42	2005	An Improvement of Inner Wall Glass Column Coated with TiO <sub>2</sub> (IWGCT-TiO <sub>2</sub> ) Reactor Type for an Indoor Air Pollution Control 室内空気汚染状態を計測する目的で開発された、TiO <sub>2</sub> で内壁コーティングしたガラスコラム反応器型計測器の改良	Dr. Jarnuzi Gunlazuardi
43	2005	Optimization Biomass Gasification with Improvement of Gas Cleaning System ガスクリーニングシステムの改善による最適なバイオマスガス化方法の研究	Dr. Adi Surjosatyo, M.Eng
44	2005	Magnetic Water Treatment for Scale Prevention 磁化装置を通し処理した水を使ったスケール付着防止方法の研究	Ir. Nelson Saksono, M.T.
45	2006	New Injector Mechanism for Gasoline Motorcycle with LPG Gas Cooker LPGクッカーを用いたオートバイ新内燃機関の開発	Dr. Bambang Sugiarto, M.Eng.
46	2006	CO <sub>2</sub> Absorption Through a Hollow Fiber Membrane Gas - Liquid Contactor 中空繊維膜式の二酸化炭素吸収液化接触器の研究	Ir. Sutrasno Kartohardjono, M.Sc., Ph.D.
47	2006	Effects of Textural Promoters on the Quantity and Quality of Nanocarbon through Catalytic Decomposition of Methane using Ni-Cu-based Catalyst Ni-Cu触媒によるメタン分解後のナノカーボンの量的、質的改良効果の研究	Dr.rer.nat. Ir. Yuswan Muharam, M.T.
48	2006	Synthesis and Characterization of Porous TiO <sub>2</sub> Material as Photo catalyst for Indoor Air Pollution Control 室内空気汚染制御を目的とした光触媒としてのTiO <sub>2</sub> 多孔性物質の合成と特性評価の研究	Dr. Yuni K. Krisnandi
49	2006	A Simple Technique for Surface Area Determination through Supercritical CO <sub>2</sub> Adsorption 超臨界二酸化炭素吸収による表面特定技術の研究	Dr. Ir. Mahmud Sudibandriyo, M.Sc.
50	2007	Utilization of CO <sub>2</sub> /Ethane Mixture as A New Alternative of Eco-Friendly Refrigerant For Low Temperature Applications 環境にやさしい新冷却剤としての二酸化炭素とエタノールの混合利用	Dr. Ing. Nasruddin, M. Eng.
51	2007	Reducing of CO gas emission in a coal briquette stove by introduction of a downjet ダウンジェット(下降噴流装置)による練炭ストーブの一酸化炭素ガスの低減	Ir. Dijan Supramono, MSc.
52	2007	Nitrogen Oxide Removal Using Biofilter バイオフィルターを用いた窒素酸化物の除去	Dr. Heri Hermansyah, M.Eng., ST.

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
53	2007	Utilization of Indonesian Natural Zeolite as Packing Materials of Biofilter for Hydrogen Sulfide Removal 硫化水素除去のためのバイオフィルターを充填したインドネシア固有の天然ゼオライトの利用	Ir. Eva Fathul Karamah, MT.
54	2007	Oscillating Electric Field Water Treatment for Reducing of Hardness and Scalling Prevention in Hard Water 硬水の硬度低減と水垢防止のための振動電場での水処理	Ir. Nelson Saksono, MT.
55	2008	Direct Synthesis of Dimethyl Ether (DME) from Syngas in Fixed Bed Reactor 固定床反応による合成ガスからのジメチルエタノールの直接合成	Dr. Heri Hermansyah, M. Eng. ST Dr. Ir. Slamet, M.T.
56	2008	Aerothermodynamics study of smoke detection as a basis for Development of portable smoke detector assessment techniques ポータブル煙感知器評価のための空気熱力学研究	Dr. Ir. Budiarmo, M. Eng. Ir. Yulianto S. Nugroho, M. Eng., PhD
57	2009	Development of Adsorbed Natural Gas storage Prototype And Its Performance During Discharge 吸着式天然ガス貯蔵システムの試作及び吸脱着性能に関する研究	Dr. Ing. Nasruddin, M.Eng & Ir. Mahmud Sudibandriyo, MSc, PhD
58	2009	Development of Carbon Foam-Supported Nickel Catalyst for The Production of CO <sub>2</sub> -free Hydrogen and Nanocarbon via Thermo Catalytic Methane Decomposition 熱触媒メタン還元反応による水素とナノカーボン生成におけるカーボン担体ニッケル触媒の研究	Ir. Praswati PDK Wulan, MT
59	2010	Study of Fluidized Bed Lignite-Gasificator in Non Thermal Plasma Field for Enhancement of Coal Utilization 石炭利用拡大を目指した非熱プラズマの流動床褐炭ガス化の研究	Prof. Dr. Ir. Setijo Bismo, DEA
60	2010	Heterogeneous Modeling for Fixed-bed Fischer-Tropsch Synthesis for the Prediction of Syngas Conversion and Product Selectivities 合成ガス転換及び製品の予測のための固定床フィッシャー・トロプシュ合成に対する異成分モデリング	Dr. Rer.nat.Ir.Yuswan Muharam, MT
61	2010	Synthesis of Nanozeolite Membranes and Their Application for Gas Separation ナノゼオライト膜の合成とガス分離への適用	Dr. Ivandini Tribidasari Anggran- ingrum
62	2011	Preparation of Mesoporous ZSM 5 and Its Application as Catalyst for Gas Conversion メソ多孔質ZSM5とガス転換のための触媒としての応用の準備	Dr. Yuni Krisyuningsih Krisnadi
63	2011	The Chlor-Alkaly Production by Electrolysis Plasma Process in NaCl Electrolyte Solution 電解質NaCl溶液におけるプラズマ電解法によるクロールAlkaly生産	Dr. Ir. Nelson Saksono, MT
64	2011	Mitigation of Vapour Cloud Explosion Effects using Watermist System 水の霧化システムを使用した蒸気雲爆発現象の緩和	Prof. Yuliano S.Nugroho, PhD
65	2012	Enhanced Hydrogen Storage Capacity on Metal Doping Carbon Nanotubes by Molecular Dynamics Simulation 分子動態シミュレーションによる、金属添加カーボンナノチューブに関する水素貯蔵能力の拡張	Dr.-Ing Ir. Nasruddin, M.Eng
66	2012	Development of Carbon Nanotubes from Waste Polyethylene Terephthalate Plastics to Solve Environmental Problems 環境問題を解決するための廃棄ポリエチレン・テレフタレート・プラスチック (PETボトル) からのカーボン・ナノチューブの開発	Dr.Ir.Praswati PDK Wulan, MT
67	2012	Evaluation of Lampung Natural Zeolite and Activated Carbon as Filter Media in N <sub>2</sub> O Biofiltration. ランポン州 (インドネシア・スマトラ島南部) 天然ゼオライトと活性炭のN <sub>2</sub> O(亜酸化窒素) のバイオろ過方式におけるろ過材としての評価	Dr.Tania Surya Utami, S.T., M.T
68	2012	Optimisation on Partial Oxidation of Methane Using Mesoporous Co/ZSM5 Catalyst メソ多孔質触媒Co/ZSM5を使ったメタンの部分的な酸化に関する最適化	Dr.Yuni Krisyuningsih Krisnadi

**2 Bandung Institute of Technology (ITB) バンドン工科大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
1	1992	Exploratory Research on Direct Partial Oxidation of Methane to Methanol. in the Liquid Phase (1) 液相でのメタンからメタノールへの直接的な部分酸化に関する研究	Dr. Tatang
2	1992	Oxidative Coupling Methane (1) メタンの酸化結合 (適当な触媒と反応条件の探求)	Dr. Subagio
3	1992	Application of the Unified and Compositional Model for Designing a Separator and a Compressor System in a Gas / Condensate Pipeline Network (1) ガスと水和物のパイプラインにおける分離機と圧縮機の設計に対する統合成分モデルの適用	Dr. Doddy Abdassah
4	1993	Exploratory Research on Direct Partial Oxidation of Methane to Methanol. in the Liquid Phase (2) 液相でのメタンからメタノールへの直接的な部分酸化に関する研究	Dr. Tatang
5	1993	Oxidative Coupling Methane (2) メタンの酸化結合 (適当な触媒と反応条件の探求)	Dr. Subagio
6	1993	Application of the Unified and Compositional Model for Designing a Separator and a Compressor System in a Gas / Condensate Pipeline Network (2) ガスと水和物のパイプラインにおける分離機と圧縮機の設計に対する統合成分モデルの適用	Dr. Doddy Abdassah
7	1994	Development of A New Algorithm of Nodal Network for Analyzing Gas Pipeline Network ガス輸送管ネットワーク解析のための新しいアルゴリズムの開発	Doddy Abdassah, Ph. D, Leksono Musharam, Ph. D.
8	1994	Heating Value Determination of Compressed Natural Gas(CNG) 圧縮天然ガス (CNG)の発熱量の測定	Dr. Ir. Sanggono Adisasmito
9	1994	Study on the Methane Adsorption-Desorption Capacity of Indonesian Coal インドネシア産石炭のメタン吸着能力の研究	Tri Partono Adhi, Ph. D.
10	1995	Study on the Dynamic of Dye stuff Adsorption on Activated Carbon 活性炭による染料吸着の動特性に関する研究	Tri Partono Adhi, Ph. D.
11	1995	Bacterial Growth of Methylococcus Capsulatus in Methane to Methanol Fermentation メタン中におけるメチロコッカス・カプスラタス(メタン資化性菌)のバクテリア発酵によるメタノールの製造	Dr. Ir. Sanggono Adisasmito
12	1995	Mixing Characteristics of Coal and Bed Particles in a Fluidized Bed 流動床における石炭とベッド・パーティクルとの混合特性	Dwiwahju Sasongko
13	1996	Modelling and Simulation of Reformer-Heat Exchanger System 天然ガスの熱交換型リフォーマシステムのモデル化とコンピュータシミュレーションによる評価	Dr. Ir. Herri Susanto
14	1996	Development of Membrane Based Processes for Flue Gas Cleaning 膜使用による燃焼排ガス処理プロセスの開発	Ir. I Gde Wenten, Ph. D.
15	1996	Application of Anaerobic Baffled Reactors in Treating Palm Oil Mill Effluents 嫌気性整流板式反応器によるパーム油粉砕機の廃液処理の研究	Ir. Tjandra Setiadi, Ph. D.
16	1997	Fabrication SnO <sub>2</sub> as CO gas sensor by Thin film, Thick film and Bulk methods 一酸化炭素ガスセンサーとして、薄膜、厚膜及び球粒方法による二酸化スズの製作とその特性測定	Dr. Eng. Nugraha Dr. Ahmad Nuruddin
17	1997	Flow and Partial Combustion Physical Modelling for Secondary Conversion of Methane in a Synthesis Gas アンモニア合成ガスのメタンの2次改質のための流れ分布及び部分燃焼の物理的モデルによる解析	Ir. Yazid Bindar, M. Sc., Ph. D.
18	1997	Computer Study on the Effect of the Application of Pre-Reformer on the Performance of Primary Reformer and Steam Balance in A Synthesis Gas Production Unit アンモニア合成ガス製造装置において前段改質器の適用が一次改質器の性能およびスチームバランスに与える効果のコンピュータ・シミュレーションによる研究	Dr. Ir. Herri Susanto, Ir. Yogi Wibisono Budhi M. Sc.

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
19	1998	Separation of Carbon Dioxide from Exhaust Gas Mixture Using Membrane 排出混合ガスからの膜を用いた炭酸ガス分離の研究	Dr.Eng Veronica S. Praptowidodo
20	1998	Preliminary Study on The Production of Methanol from Natuna's Natural Gas ナツナ地区の天然ガスからのメタノールの生産に関する予備研究	Yogi Wibisono Budhi, ST., MT.
21	1998	The Influence of CO <sub>2</sub> Gas Content in The Gas Fuel on Gas Engine Performance and Exhaust Gas Emission 燃料ガス中の炭酸ガスの含有量がガスエンジンの性能及び排気ガス成分に及ぼす影響	Dr. Iman Kartolaksano Reksowardojo
22	1999	Fragmentation of Single Devolatilizing Coal Particles in Fluidized Bed Combustion 流動床燃焼における揮発分発散による石炭粒子の破碎	Dr. Dwiwahju Sasongko
23	1999	Fabrication of Tin Oxide-Based CO Gas Sensors 金属酸化物ベースCOガスセンサーの製作	Ahmad Nuruddin, Ph.D.
24	1999	Performance and Stability Study of a Conversion Kit for Natural Gas Vehicle (NGV) Controlled Electronically 天然ガス自動車転換キットの加速性能向上電子制御システムの開発	Dr. Rachmat K. Bachrun
25	2000	Development of A2-Class R12 Substitute Refrigerant Based on LPG+LFS Blend LPGと燃焼抑制剤の混合物をベースとするA2-Class R12の代替冷媒の開発	Prof. Dr. Ir. Aryadi Suwono
26	2000	Obtaining Clean, Unleaded and High Octane Fuel by Mixing BB2L Gasoline and LPG BB2LガソリンとLPGの混合による無鉛高オクタン価燃料の製造	Dr. Ir. T.A. Fauzi Soleaiman
27	2000	The Reconnaissance Geochemical and Geological Studies of Gas and Oil Seeps in Tanjung Api, Gorontalo Basin, Central Sulawesi, Indonesia インドネシア中部スラウェシ州ゴランタロ海盆 アピ岬で発見されたガスおよび石油の地球化学的調査	Dr. Eddy A. Subroto
28	2001	Prediction of Compression Ratio, Performance, Exhaust Gas and Noise Emission of a Converted Gas Engine from a Diesel Engine by Using Thermodynamics Simulation ディーゼルエンジンをガスエンジンに転換する場合の圧縮比、性能、騒音等の熱力学シミュレーションモデルによる予測	Dr. Iman K. Reksowardojo
29	2001	Effect of Dissolved CO <sub>2</sub> on Growth and Hydrocarbon Content of Micro Algae 'Botryococcus Braunii' 微小藻類'Botryococcus Braunii'の成長および炭化水素含有量に及ぼす液相CO <sub>2</sub> の影響	Ir. Retno Gumilang Dewi
30	2001	Development of ZnO Thin Film Gas Sensor 酸化亜鉛薄膜ガスセンサー(O <sub>2</sub> およびCO <sub>2</sub> 用)の開発	Dr. Wilson W. Wenas
31	2002	Geometry Optimization on Conical Combustion Chamber to Enhance Methane Conversion in a Secondary Reactor Reformer Using Computational Fluid Dynamic Technique 流体力学手法を用いた2次改質器内メタン改質効率を高めるための円錐形燃焼室構造の最適化	Ir.Yazid Bindar,MSc.,Ph.D.
32	2002	Continuous Loop-Mixer Reactor Development for Producing Biodiesel from Vegetable Oil and Methanol 植物油とメタノールからバイオディーゼル燃料を連続的に生産するループ型反応器の開発	Tirto Prakoso,M.Eng.,Ph.D.
33	2002	Oxidative Coupling of Methane Using CO <sub>2</sub> as Oxidant in a Membrane Reactor 膜式反応器における酸化剤CO <sub>2</sub> を用いたメタンの酸化カップリングについての研究	Dr.Azis Trianto
34	2002 (10周年特別助成)	Modification of Polypropylene Impact Copolymer by Blending with Polycaprolactone to Produce biodegradable Polymers 生分解性高分子を生産するためのポリカプロラク톤のブレンドによるポリプロピレンの修飾	Dr.I Made Arcana
35	2003	Thermochemical Study of Coal Ash Vitrification as an Alternative Solid Waste Remediation Process 固形廃棄物浄化のための代替プロセスとしての石炭灰熔融固化法に関する熱化学的研究	Tjokorde W. S, MT., Ph.D.

**2 Bandung Institute of Technology (ITB) バンドン工科大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
36	2003	Ecological Role of Mountain Forest as Terrestrial Carbon Sink : I. Quantifying the Carbon Stocks 地球の炭素固定源としての山岳部森林地帯の生態学的役割:I.炭素固定量の計測	Dr. Endah S.
37	2003	Simulation of Flow Problem in Gas Reservoirs by Operator Splitting-Control Volume Mixed Finite Element Method 演算の分割とCVMFE法を結びつけた手法による、ガスリザーバー内流れ問題に対するシミュレーション	Dr. Sutopo
38	2003	Effects of Some Significant Variables on Quality of Activated Carbon from Indonesian Coals インドネシア産石炭から製造した活性炭の品質におけるいくつかの重要な変数の効果について	Dr. Dwiwahju Sasongko
39	2004	Preliminary Plant Design for Recovery of Phenol from Wastewater by Emulsion Liquid Membrane エマルジョン液相メンブレンを用いた排水からのフェノール回収処理プラントの予備設計研究	Dr. Eng. I Dewa Gede Arsa Putrawan
40	2004	Development of Thermodynamic Property Models for Wide-Range Fluid-Phase Propane and Normal Butane プロパンとn-ブタンの広範な液状混合範囲における熱力学特性モデルの開発研究	Dr. I Made Astina
41	2004	Experimental Study on the Characteristic of Less Flammable Hydrocarbon Refrigerant: Special consideration on Flamability Level and the Lubrication Effect 低可燃性炭化水素冷媒の特性についての実験的研究:可燃性レベルと潤滑効果に関する特別考察	Dr. Ir. Ari Darmawan Pasek
42	2005	Leak Detection Modeling and Simulation for Oil Pipeline with Artificial Intelligence Technique AI技術を用いた石油パイプラインの漏洩検知モデル及びシミュレーション技術の開発	Pudjo Sukarno, Ph.D
43	2005	Study on the Impact of Sea Level Rise and Its Economic Valuation in Coastal Zone of Jakarta Bay ジャカルタ湾の沿岸ゾーンにおける海面上昇のインパクト及びその経済評価	Safwan Hadi, Ph.D
44	2005	The Multipath Ultrasonic Flowmeter for Measuring the Axial Velocity Distribution of Natural Gas Flow 天然ガス流体軸方向速度分布を測定するためのマルチパス超音波流量計の開発	Dr. Ir. Deddy Kurniadi
45	2005	Synthesis of Luminescent Nanoparticles Emitting Ultraviolet Light for Decomposing Organic Pollutants in Water/Air 水/大気中の有機汚染物質を分解する遠紫外線を発光するナノ粒子物質の合成	Dr. Eng. Mikrajuddin Abdullah
46	2006	Dual Gas Lift Well Optimization using Stability Criterion 安定基準を用いたデュアルガス汲上げ井戸最適化の研究	Pudjo Sukarno, Ph.D.
47	2006	CO <sub>2</sub> -Injection : Enhanced Recovery for Coalbed Methane Field and CO <sub>2</sub> Sequestration Potential 炭層メタンフィールドの再生と二酸化炭素隔離技術の可能性の研究	Dr.Ir. Taufan Marhaendrajana, MSc.
48	2006	Gas Geochemistry of the Central Java Province---a Contribution to Understanding the Petroleum System of the Area 中部ジャワ地方における石油系統把握に関する研究	Dr.Ir. Eddy A. Subroto
49	2006	Biomonitoring of the Genotoxic Potential of Leachates in Waste Dumping Sites, using the Comet and Micronucleus Tests on Freshwater Fish (Cyprinus carpio L) ゴミ廃棄場からの浸出水の遺伝毒性等の生物学的監視の研究	Dr. Ayda T. Yusuf
50	2007	Clamp-On Ultrasonic Flowmeter for Measurement of Gas Flow ガス流計測に用いる管外面装置式超音波流量計	Dr.Eng. Deddy Kurniadi
51	2007	Process Intensification in Automotive Catalytic Converter for Treatment of Exhaust Gas Emission (排気ガス)大気汚染対策のための自動車用触媒式排気ガス浄化装置	Dr. Yogi Wibisono Budhi

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
52	2008	In vitro Shoot Regeneration of Croton tiglium L., A Prospective Biofuel - Producing Plants クロトン・チグリウムLの再生	Dr. Iriawati
53	2008	Life Cycle Analysis of Methanol Synthesis: A Comparison Study Between Natural Gas and Biomass As Feed Stocks メタノール複合物のLCA(ライフサイクル評価)*:原料としての天然ガスとバイオマスの比較研究	Dr., Ir. Yogi Wibisono Budhi
54	2009	Biodiversity, Distribution and abundance of Lichenes and Mosses in Mount Tangkuban Parahu, in Relation to Climate and Environmental Changes 気候及び環境変動に関するTangkuban Parahu山における地衣類(こけ)の分布と豊富について	Taufikurrahman, Dr
55	2009	Synthesis of Nanosheet Zinc Oxide using Crystal Growth Technique for Volatile Organic Compounds Gas Sensors 揮発性有機化合物ガスセンサーに対するクリスタル成長技術を用いたナノシート亜鉛酸化物合成の研究	Brian Yulianto, Ph.D
56	2010	Modelling of Upwelling Dynamics for Fishery Management Under Climate Changes : Case Study along the Southern Coast of Java 気候変動下における漁業管理のためのモデリング:ジャワ島南部沿岸での研究	Dr. Eng. Nining Sari Ningsih MS
57	2010	Development of New Sensor for Environmental Monitoring 環境モニタリングのための新規センサーの開発	Prof. Dr. Ing. Mitra Djamal
58	2010	The Utilization of Methane Leak from Natural Gas Transmission as Thermal Energy to Avoid More Adverse Impact of Gas Emission to Environment 環境へのガス排出影響を避けるための熱エネルギーとしての天然ガス輸送からのメタン漏れの利用	Dr. Yogi Wibisono Budhi ST, MT
59	2011	Rearing Method and Resistance Levels of Musca domestica from Jakarta, Bandung, Yogyakarta and Surabaya to Pyrethroid and Carbamate Insecticides ピレスロイド系とカーバメート系殺虫剤に対するジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタとスラバヤのイエバエの飼育方法と抵抗レベル	Prof. Intan Ahmad, Ph.D
60	2011	Response to global warming:Evidence from Indonesian waters which exposed to the West Pacific and Indian Ocean 地球温暖化への対応:西太平洋とインド洋にさらされるインドネシア海域からの証拠	Ivonne Milichristi Radjawane, M.Si, Ph.D.
61	2011	PERFORMANCE STUDY ON INTEGRATED PRODUCTION WELL SYSTEM OF GAS CONDENSATE RESERVOIR ガス井コンデンサート貯留層の一貫生産システムのパフォーマンスの研究	Prof. Pudjo Sukarno, Ph.D.
62	2012	ASSESSMENT OF SPATIAL IMPACTS OF COMBINED NATURAL AND ANTHROPOGENIC HAZARDS ON WATER RESOURCES IN SERIBU ISLANDS, JAVA SEA ジャワ海SERIBU諸島における、自然と人為的なものが組合わされた水起源の災害の空間的な影響の評価	Dr. Poerbandono ST,MM
63	2012	PLANNING FOR POST DISASTER RECOVERY CASE STUDY OF: EARTHQUAKE DISASTER IN PENGALENGAN KABUPATEN BANDUNG 防災復興計画:PENGALENGAN(カニング)地区バンドンにおける地震災害のケーススタディ	Dr. Saut Aritua Hasiholan Sagala ST., M.Sc
64	2012	Evaluation Process The minimum miscibility pressure on Enhanced Oil Recovery with CO <sub>2</sub> Injection, Flue-Gas Flare Gas for Increased Oil Production & Control of Greenhouse Gas Emissions 石油生産の増加と、温室効果ガス排出量の管理のための、CO <sub>2</sub> 圧入、排煙フレアガスの石油増進回収法に関する最低混和圧力についての評価プロセス ※) Enhanced Oil Recovery:(EOR) 石油増進回収法のこと。1次回収した後の油層で、熱攻法、ガス圧入法、ケミカル圧入法などの2次回収法により石油を回収する方法	Dr. Tjokorde Walmiki Samadhi ST,MT

**3 Bogor Agricultural University (IPB) ポゴール農業大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
1	1992	Measurement and Modeling of CH <sub>4</sub> and Fluxes from Paddle Fields in the Indonesian Swampy Areas (1) インドネシア沼地水田地帯の液状メタン及び炭酸ガスの測定とモデル化	Dr. Ir. Supiandi, Sabiham
2	1992	Climate Water Balance Studies of Cimanuk, Citarum, and Ciliwung Watershed Areas (1) 西ジャワCimanuk, Citarum, Ciliwung各流域の気候による水量バランスの研究	Ir. Ahmad Bey, Ph. D.
3	1992	Effects of Pollutants Emitted by Cars on Plant Leaves (1) 自動車排気が植物に及ぼす影響について	Endes N. Dahlan, MS
4	1993	Measurement and Modeling of CH <sub>4</sub> and Fluxes from Paddle Fields in the Indonesian Swampy Areas (2) インドネシア沼地水田地帯の液状メタン及び炭酸ガスの測定とモデル化	Dr. Ir. Supiandi, Sabiham
5	1993	Climate Water Balance Studies of Cimanuk, Citarum, and Ciliwung Watershed Areas (2) 西ジャワCimanuk, Citarum, Ciliwung各流域の気候による水量バランスの研究	Ir. Ahmad Bey, Ph. D.
6	1993	Effects of Pollutants Emitted by Cars on Plant Leaves (2) 自動車排気が植物に及ぼす影響について	Endes N. Dahlan, MS
7	1994	The Effects of Calcite and Furnace Slag on Methane Production from the Indonesian Paddy Soils インドネシアの水田からのガス発生を抑制させるための方解石及び高炉スラグの利用	Dr. Ir. Supiandi, Sabiham
8	1994	The Application of IPCC Methodology in developing National Inventory of Greenhouse Gases (1) IPCC(気候変動に関する政府間パネル)法を応用したインドネシアの国内の温室効果ガス発生総量の計算	Ir. Ahmad Bey, Ph. D.
9	1995	Methane (CH <sub>4</sub> ) Flux from Three Soil Types of Paddy Field in Indonesia : A Study Based on Glass House Experiment インドネシアにおける3つの土壌タイプの水田からのメタン発生量(温室実験)	Dr. Ir. Supiandi Sabiham
10	1995	The Effects of Gases Emitted by Motor Cycle and Cement Dust on Plants Leaves 自動車排気およびセメントダストが植物の葉に及ぼす影響について	Dr. Endes N. Dahlan, MSc
11	1995	The Application of IPCC Methodology in developing National Inventory of Greenhouse Gases (2) IPCC(気候変動に関する政府間パネル)法を応用したインドネシアの国内の温室効果ガス発生総量の計算	Ir. Ahmad Bey, Ph. D.
12	1996	The Contamination of Pb (Lead) in the Leaves and Soil in the Area of Gunung Mas Plantation, Bogor "GUNUNG MAS" 紅茶農園地域の植物の葉および土壌への鉛(Pb)による汚染の調査	Dr. Ir. Oteng Harijaja, MS.c.
13	1996	The Influence of Urban Development to the Status and Forest Function ;Study Case : Muara Kamal, Jakarta 都市開発が森林の状態および機能に及ぼす影響の研究 ケーススタディ:ムアラ・カマル、ジャカルタ	Ir. Soedari Hardjoprajitno, MS.c.
14	1997	Present and Future Profiles of Bogor Botanical Garden in Relations to Its Role as Sink Medium for Gases Emitted from Transport and Harnessing of Environment 自動車排気ガスの吸収媒体及び環境調整機能としてのポゴール植物園の役割についての現状及び将来の調査	Dr. Ahmad Bey, Ir. Hefny Effendi, MSc
15	1998	Lead Accumulation Level at Tea Plantation Which Borders on Highway 高速道路に隣接する茶園における鉛の蓄積量の測定	Dr. Ir. Oteng Harijaja, MS.c.
16	1998	Production of Gibberelins From Water-Hyacinth's Roots ホテイアオイの根からジベレリン(植物成長ホルモン)の抽出製造の研究	Dr. Ir. Erliza Noor
17	1998	Temporal and Spatial Distribution of Acid Rain Over Bogor ポゴールにおける酸性雨の時間及び空間的分布の調査及び予測	Dr. Ahmad Bey,

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
18	1999	Estimation of potential CO <sub>2</sub> sequestration by C3 plants: a comparison between Big Leaf and Sun-Shade canopy models C3植物によるCO <sub>2</sub> 固定能力の推定研究:Big Leafおよび Sun-Shade樹冠モデルの比較分析を中心に	Ir. Tania June, MSc. Ana Turyanti, S.Si
19	1999	Prospect of Harvesting Landfill Gas for Energy;Bantar Gebang landfill as a case study 埋め立てごみから発生するメタンガスをエネルギー源として回収する見通し: Bantar Gebangごみ埋め立て地のケーススタディ	Dr. Ahmad Bey, Dr. Amril Aman
20	1999	Biodesulfurization of SO <sub>2</sub> Gas 亜硫酸ガスの生物学的脱硫	Dr. Ir. Erliza Noor, Dr. Ir. Wardono Niloperbowo
21	1999	Electrochemical and Photoelectrochemical Reduction of Carbon Dioxide (CO <sub>2</sub> ) Gas 炭酸ガスの電気化学的および光電気化学的還元	Akhiruddin Maddu, M.Si, Ir. Irmansyah
22	2000	Impact of Land-use Change on Soil Microbes Responsible for Nitrification and Denitrification 土地使用形態の変化が窒素化合および脱窒素作用に関わる土壤微生物に及ぼす影響	Dr. Gunawan Djajakirana
23	2000	Greenhouse Gases Inventory from Landuse and Forest Cover Change Linked to Geographic Indormation System in Indonesia インドネシアに於ける地図情報システムに連動した土地使用形態および森林面積の増減が地球温暖化ガス発生に及ぼす影響の評価	Dr. Tania June, MSc. , Dr. Handoko, MSc., Ir. Markum, MSc.
24	2000	The Relation between Traffic Intensity and Lead Pollution in Elementary School Student's Blood and Hair in Jakarta ジャカルタに於ける小学生の血液と頭髮の鉛汚染と交通密度の関係	Dr. Ir. Muhammad Nur Aidi
25	2000	Converting Fish Waste to Organic Fertilizer 魚残滓の有機肥料としての有効利用	Dr. Iswandi Anas
26	2001	Study on Empowerment of Rural Institutions for the Implementation of CDM Project in Indonesia; Learning from Kupang AIJ-Pilot Phase Project インドネシアにおけるCDMプロジェクト実施のための現地機関への権限付与に関する研究:クバンAIJパイロット段階プロジェクトからの学習	Dr. Ir. Manuntun Parulian Hutagaol
27	2001	Assessment of the Potentiality of Agroforestry Technology for CDM Project: A Case Study for Java 農業・林業両用の土地利用技術がCDMプロジェクトに対して有する潜在能力の評価:ジャワについてのケーススタディ	Dr. Ir. Rivaldi Boer
28	2001	Carbon Sink Projects and its Impact on Natural Ecosystem; Case Study in Meru Betiri National Park, East Java 炭素固定プロジェクトとその自然生態系に及ぼす影響:東ジャワ州メル・ベチリ国立公園におけるケーススタディ	Ir. Ervival A. M. Zuhud
29	2001	Adsorption Cooling Machine as Auxiliary Unit for a Tropical Vegetables Storage 熱帯野菜の貯蔵倉庫に補助冷却装置として吸着式冷却機使用に関する研究	Prof. Dr. Kamaruddin Abdullah
30	2001	Study on the poteneial Contribution of Municipal Solid Waste Composting to Reduce Green House Gas Emission in Jabotabek 都市固形廃棄物の堆肥化によるジャボタベク地区における地球温暖化ガスの排出量低減に関する研究	Dr. Ir. Suprihatin
31	2002	Estimation of Greenhouse Gases Emission (GHG) from Forest Fire 森林火災による温室効果ガス排出の推計	Dr. Ir. Lilik B. Prasetyo, M.Sc
32	2002	Assessment of the Carbon Emission from Industries and Transportation. A Case Study at Depok City, Java. 産業及び運輸業から排出する炭素量に関するアセスメント:デポク市(ジャワ)のケーススタディ	Dr. Ir. Mohamad Yani, M.Eng
33	2002	The Estimation of Greenhouse Gases Emission of Peat Fire 泥炭火災による温室効果ガス排出に関する推計	Dr. Ir. Lailan Syaufina, M.Sc
34	2002	Study on Solar Dryer with Rotating Rack for Cocoa Beans カカオ豆用回転棚の太陽光乾燥に関する研究	Leopold Oscar Nelwan, STP, M.Si

**3 Bogor Agricultural University (IPB) ポゴール農業大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
35	2003	Development of Evaporative Cooling System for Temporary Storage of Horticultural Products in order to Reduce CFC Emission CFCガス放出削減を目的とした園芸生成物の一時保管用蒸気冷却システムの開発	Dr.Ir. Armansyah H. Tambunan
36	2003	Assesment on CO <sub>2</sub> Emission Reduction in Bogor-West Java 西ジャワ-ポゴールにおけるCO <sub>2</sub> ガス放出削減に関するアセスメント	Dr.Arief Sabdo Yuwono,MSc
37	2003	Reducing Methane Emission of Ruminant Animal through supplementing Polyunsaturated Fatty Acid into their Diet. 反芻動物に不飽和脂肪酸配合飼を与えることによるメタンガス放出の削減について	Dr. Ir. Asep Sudarman, M.Rur.Sc.
38	2003	Identification of Area for Clean development Mechanism (CDM) on Forestry in SUMATRA Island スマトラ島の森林地帯におけるCDM実施のための用地認定についての研究	Dr. Lilik Budi Prasetyo, M.Sc.
39	2004	Management Of Heavy Metals Contaminated Soil In An Urban Arable Land In The Vicinity Of Industrial Area Of Cileungsi, West Java 西ジャワ、チレウングシの工業地帯近辺に位置する市街耕作地における重金属汚染土壌に対する処理について	Ir. Untung Sudadi, M.S
40	2004	Spatial Dynamic of Soil Organic Carbon Related to Land-use Change During 2 Decades: Case Study of Bogor Area, West Java 20年間の土地利用変化に伴う土壌中有機炭素(量)の空間的拡散について:西ジャワ、ポゴール地域におけるケーススタディ	Dr. Ir. Widiatmaka, DAA
41	2004	The Importance of Agrarian Issues in Addressing the Climate Change 気候変動を論ずる際の農地問題の重要性について	Dr. Endriatmo Soetarto Laksmi Adriani Savitri, SP, Heru Purwandari, SP
42	2004	Evaluation of CO <sub>2</sub> , CH <sub>4</sub> , and N <sub>2</sub> O Emissions In Biodegradation of Oil Sludge Through Land-farming 農耕地におけるオイルスラッジの微生物分解過程におけるCO <sub>2</sub> 、CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O放出量の評価について	Drs. Fahrudin, M.Si
43	2004	The Establishment of Peat Fire Management System in District of Bengkalis, Riau Province リアウ州、ベンカリス地方における泥炭火災管理システムの構築について	Dr. Ir. Lailan Syaufina, M.ScDra Nining Puspaningsih, MS Ir. Achmad Sidik Thoha
44	2005	Combination of Probiotic Bacteria and Aquatic Plants In Restaurant Waste Water Treatment 共生細菌及び水生植物のコンビネーションによるレストラン排水処理技術の開発	Dr. Ir. Hefni Effendi, M.Phil
45	2005	Petroleum Hydrocarbon and Barium Enrichment in the Soil Due to Blow Out of Natural Gas Well, Its Remediation as well as the Growth Capability of Acacia Plants 天然ガス井戸が原因で石油炭化水素及びバリウムを多く含有する土地に、アカシアを植林した時のアカシアの成長能力及び土壌浄化能力について	Dr. Herdhata Agusta
46	2005	Bio-Ethanol Production from Corncob Residue by Two Successive Fermentations 2段階発酵技術によるトウモロコシ茎残渣物からのエタノールの製造	Dr. Ir. Titi Candra Sunarti
47	2005	Deforestation as a Global Issue and Access to Land as a Local Problem: Searching the Compromise 地球的課題としての森林破壊と地域的課題としての土地利用の調和に関する調査研究	Drs. Satyawan Sunito
48	2005	Simple Technique of Biogas Production as Renewable Energy Resource in Rural Area 農村地域における再生可能エネルギー源としてバイオガスを製造するための簡易技術について	Dr. Ir. Basuki Sumawinata, M.Agr
49	2006	Renewable Energy Resources for Small Scale Agro-Processing Unit at tourism Area: Case study at Telaga Warna 観光地における小規模なアグロ・プロセッシング(貧困層のための付加価値性をプラスした改良型の農業運営)のための再生エネルギー源(テラガ・ワルナにおけるケーススタディ)の研究	Dr. Ir. Aris Purwanto, M.Sc

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
50	2006	The Study on Aquatic Microfungi Biodiversity in Highland Lake of Telaga Warna, Bogor テラガ・ワルナの高地湖における水生極微菌の多様性の研究	Dr. Ir. Hefni Efficndi, M. Phil Surantiningasih, S. Pi
51	2006	Biodiversity of Soil Fauna and Microbes at Natural Preserve Area of Telaga Warna, Puncak, Bogor テラガ・ワルナの自然保護区における土壌生物と微生物の多様性(化)の研究	Dr. Ir. Rahayu Widyastuti, M. Sc
52	2006	Review on Environmental Management System of Telaga Warna テラガ・ワルナの環境管理システムの研究	Ir. Prastowo, M. Eng
53	2006	Aquatic Ecologiacl Study of Telaga Warna Lake, West Java Indonesia 西ジャワ(州)、テラナ・ワルガ湖の水中生態系の研究	Dr. Sulistiono Dr. M. F. Rahardjo
54	2006	The Analysis of The Landcover Change Effect to Soil Erosion Using Spatial Modeling and Analysis (As a Key for Land Use Planning in Telaga Warna Catchment Area) 空間モデリングと解析を用いた、土壌浸食に対する地球表面被覆の効果についての分析(テラガ・ワルナ集水池域における土地利用計画のための手がかりとして)	Dr. Ir. Lilik Budi Prasetyo, M.Sc Yudi Setiawan, SP Wim Ikabal, S. Hut
55	2007	Life Cycle Assessment Approach of Solid Waste Management: Case study in Bogor city, West Java 固形ゴミ管理のためのライフサイクル評価:西ジャワ州ボゴール市のケーススタディ	Dr. Ir. Aris Purwanto, M.Sc
56	2007	Isolation and Identification of Bacterial Composition of Composting Process コンポストによる堆肥化過程での混合バクテリアの分離と識別	Dr. Ir. Hefni Effendi, M.Phil Dewa Ayu Devit Widiyanti, S.Pi
57	2007	The Behavioral Study of Community Discarding Trash and Management Institutions in Bogor City ボゴール市のゴミ廃棄に関する行動研究とゴミ処理対策	Ir. Gatot Yulianto, M.Si
58	2007	Review on Environmental Management System of Domestic Waste Management Unit in Bogor ボゴールにおける家庭ゴミをめぐる環境管理システムの検証	Ir. Prastowo, M.Eng
59	2007	Making Urban Solid Household Waste Management As Community-Based Commercial Business: A Case Study from the City of Bogor 都市部での家庭ゴミ対策の市民運営ビジネスの試み:ボゴール市のケース・スタディ	Dr. Ir. M. Parulian Hutagaol, MS
60	2008	Development of diesel engine fuel heater for optimum application of Crude coconut Oil (CCO) as alternative fuel 最適代替燃料ココナツオイルを用いたディーゼルエンジンヒーターの開発	Dr. Ir. Desrial, M. Eng.
61	2008	Development of bioethanol production technology based on marine plants for coastal community 海岸地域における海洋植物由来のバイオエタノール製造技術の開発	Santi Rukminita Anggraeni, STP., M.Si.
62	2008	Improving the mechanical properties and bio degradability of thermoplastic sago starch and synthetic polymers blends サゴ椰子澱粉と合成ポリマーの混合物から製造する熱可塑性プラスチックの特性と生物分解性の向上	Dr. Ir. Indah Yuliasih, M.Si
63	2008	Response of maize productivity to various climate change scenarios in West Java 西ジャワにおける気候変動モデルに対応するトウモロコシ生産性の分析	I Putu Santikayasa, S.Si., MIT
64	2008	Detection and quantification of global warming impact on zooplankton abundance and distribution using hydroacoustic remote sensing 地球温暖化の影響下での動物プランクトンの発生数度と分布に関する水中音波センサーによる研究	Henry M. Manik, Ph.D
65	2009	Hydrological Modeling for supporting renewable energy policy in analyzing water balance of "kelapa sawit" plantation area Kelapa sawit プランテーション地域での水平衡分析における再生可能エネルギー方策を支える水力学的モデリング	Purwanto, Yanuar MJ
66	2009	Advantage of MODIS NDVI 250 m Multi-Temporal Imagery Data for Natural Forest Identification in Java Island ジャワ島の自然森林に対するMODISデータから250m植生指標データを作成するための多重時間撮像の利点 MODIS : Moderate Resolution Imaging Spectrometer 中間分解能撮像分光計 NDVI : Normalize Difference Vegetation Index 正規化差植生指数:植生の分布状況や活性度を示す指標	Syartinilia

**3 Bogor Agricultural University (IPB) ポゴール農業大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
67	2009	Impact of climate change to population dynamic of oil palm pollinator ( <i>Elaeidobius kamerunicus</i> ) and fruit set パーム油の受粉や果実の受精における動的個体数(コクゾウムシ)への気候変動の影響	Atmowidi Tri
68	2009	An Alternative Solution to Overcome The Climate Change through application of Environmentally Friendly Technology in Forest Product Industry : Development of Binderless Particleboard Made from Bamboo 森林製造産業における環境調和技術を活用して気候変動を抑制する代替解決方法の研究:竹材を用いたバインダーを使用しない合板の開発	Suhasman,S.Hut.M.Si
69	2009	Bird and arthropod communities in fragmented plantation forest of Gunung Walat Education Forest, Cibadak Sukabumi Sukabumi 近郊のGunung Walat Education Forestの壊されたプランテーションにおける鳥と節足動物のコミュニティの研究	MULYANI,Yeni Aryati
70	2010	Identification of Bioenergy Potential at Energy Independent Village of Kampung Lebakpicung ルバックピチュン集落のエネルギー自立地域における生物エネルギー利用可能性の調査	Nur Riana Rochimawati,STP Dr. Hefni Effendi, Mphil Inna Puspa Ayu, s. Pi, M. Si.
71	2010	Techno-Economic Analisis of Micro hydro at Energy Independent Village at Kampung Lebakpicung, Hegarmanah, Cibeber, Lebak, Banten Province バンテン州ルバック県チベベル郡ヘガルマナ村ルバックピチュン集落のエネルギー自立の地域におけるマイクロ水力の技術的・経済的な解析	Dr. Y. Aris Purwanto, MSc Nur Riana Rochimawati, S. TP.
72	2010	Improvement of Agricultural Practices to Support Sustainable Environment in The Energy Self-sufficient Village of Lebakpicung, Lebak District, Province of Banten バンテン州、ルバック地区ルバックピチュンのエネルギー自立の村における持続可能な環境を支援する農業実施の改善	Pumama Hidayat Dina Ratih Sari
73	2010	Biodiversity of Aquatic Microfungi, Plankton, and Benthos in Ciambulawung River Ciambulawung川の水生のミクロ菌、プランクトン及び底生生物の生物多様性の研究	Dr. Ir. Hefni Effendi, M. Phil Aliati Lswantari, S. Pi
74	2010	Ethnobotany of Lebakpicung People and Impact of Micro Hydro Power Plant Introduction to the Utilization of Plant Diversity ルバックピチュンの人々の民族植物学とマイクロ水力発電設備導入による植物利用への影響	Ellyn K. Damayanti, Ph. D. Agr. Tovan Yulianto, A.Md., S. P
75	2010	Landscape Ecology Analyses for Water Consumption Mapping on Upland Area of Electric Micro-Hydro Installation (Ciambulawung Watershed), Lebak Picung, Banten Province マイクロ水力発電導入によるバンテン州ルバックピチュンの高地の地域の水量マッピングのためのランドスケープ自然環境分析	Boedi TJAHJONO Kukuh MURTILAKSONO Bambang Hendro TRISASONGKO
76	2011	Indigenous Ecological Knowledge and institutional dynamics as the Basic for Sustainable Rice Farming System. :Case study at Lebakpicung Community 持続可能な稲作システムのための基礎としての固有の生態学的な知識と組織の力。ルバックピチュン地域におけるケーススタディ	Rais Sonaji Nur Riana Rochimawati Tovan Yulianto
77	2011	Utilization of local plant resources as botanical pesticides to reduce rice product loss at Micro Hydro Energy Independent Community of Kampong-Lebakpicung, Hegarmanah Village , Cibeber Sub-district , Lebak District , Banten Province. バンテン州ルバック県チベベル郡ヘガルマナ村ルバックピチュン集落のマイクロ水力発電によるエネルギー自立地域で米生産ロスを減らすための植物農薬としての、地元植物資源の利用	Dr. Purnama Hidayat Dr. Hefni Effendi Ellyn K.Damayanti,Ph.D.Agr Ir. Edhi Sandra,MS
78	2011	Utilization of local energy resources to strengthen Energy Independent Villadge (case study at Energy Independent of Kampong Lebakpicung , Lebak Regency, Banten Province ) エネルギー自立の村をさらに強固にするための地域エネルギー資源の利用 (エネルギー自立のバンテン州ルバック地方ルバックピチュン集落のケーススタディ)	Dr. Y.Aris Purwanto Kukuh MurtiLaksono Boedi Tjahjono Sri Malahayati
79	2012	Design and prototype production of dustfall canister for ambient air quality monitoring system 周囲の空気質監視システムのための塵の吸収容器の設計とプロトタイプ製作	Yuwono,Arief Sabdo

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
80	2012	Nondestructive Evaluation for Supporting the Sustainability of Forest products Utilization :Determination of Gaharu (Eaglewood Characteristics) 森林製品利用の持続を支えるための非破壊評価: Gaharuガハル材(東南アジア原産の高木)の特性決定	Karlinasari,Lina
81	2012	Improving the physical and mechanical properties of biodegradable foam by acid-methanol modification of starch and fiber in sago residues サゴ椰子残渣中の澱粉と繊維の酸性メタノールによる変性によって生物分解可能な泡の物理的・機械的特性を改善	Dr.Titi Candra Sunarti Dr.Indah Yuliasih
82	2012	Study of Andalan Discharge to Support Sustainability of Microhydro Power Plan at Kampong Lebakpicung,Banten バンテン州ルバックピチュン集落におけるマイクロ水力発電計画で、継続利用を保証するための信頼できる取水量の研究	Sri Malahayati Yusuf,SP.,M.Si
83	2012	Monitoring rice cropping intensity and their dynamics changes in Java using time-series MODIS satellite images MODIS衛星の時系列画像を使って、ジャワ島における米の収穫強さとその動的変化をモニターする	Setiawan,Yudi,SP,M.Sc

#### 4 Indonesian Institute of Science インドネシア科学院

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
		Research on Reforestation Technology using VA-Mycoorrhizae on Establishing Clean Development Mechanism (CDM) Program 2004-2006 (インドネシアにおけるVAM菌を使ったCDMプログラムの検討 1-3)	Indonesia Research Center for Biotechnology LIPI/FORDA
1	2004	THE USED OF VA-MYCOORRHIZAE ON ESTABLISHING CLEAN DEVELOPMENT MECHANISM (CDM) PROGRAM IN INDONESIA (1)	Dr. Endang Sukara Dr. Usep Soetisna
2	2005	THE USED OF VA-MYCOORRHIZAE ON ESTABLISHING CLEAN DEVELOPMENT MECHANISM (CDM) PROGRAM IN INDONESIA (2)	Dra. Harmastini Sukiman M Agr Dr. Kartini Kramadibrata
3	2006	THE USED OF VA-MYCOORRHIZAE ON ESTABLISHING CLEAN DEVELOPMENT MECHANISM (CDM) PROGRAM IN INDONESIA (3)	Dra. Sylvia Lekatompessy

#### 5 Universiti Malaysia Sarawak (UNIMAS) マレーシア サラワク大学

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
1	2007	Analysis of Oil Palm Waste Composites パーム椰子残渣合成物の分析	Pn. Marini Sawawi
2	2007	The Design of Arithmetic Logic Unit (ALU) for Low Energy Central Processing Unit (CPU) by Using VHDL VHDLを用いた省エネ型CPUの演算理論ユニットの設計	En. Norhuzaimin Julai
3	2007	Design of Low Power Schmitt Trigger 低電圧(低消費電力)シュミット回路の設計	Pn. Rohana Bt Sapawi
4	2007	Development of Grip Mechanism Assistant 障害者用<握り>機能補助技術の開発	En.Shahrol Bin Mohammaddan
5	2007	Design and Analysis of a Solar Dryer Via Computational Fluid-Dynamics コンピューター流体力学による太陽光乾燥機の設計と分析	Ir. Dr. Andrew Ragai Henry Rigit
6	2007	Development of Highly Efficient Bio-energy Production from Woody Biomass and Application of Bio-energy in Internal Combustion Engine ウディ・バイオマスからの高効率バイオエネルギーの生産と内燃エンジンへのバイオエネルギーの利用	Dr. Abu Saleh Ahmed

**5 Universiti Malaysia Sarawak (UNIMAS) マレーシア サラワク大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
7	2007	Study of an Environmentally-green Palm-diesel Biofuel Derived Gasoline for Small IC Engine 環境にやさしいパーム油由来の小型ICエンジン用ガソリンの研究	Dr. Hj. Mohammad Omar Abdullah
8	2007	The Effect of Window Grilles For Safety Purposes On Energy Usage ビル厨房用コンロの安全性向上のためのエネルギー利用技術の研究	Dr. Azhaili Baharun
9	2008	Design of a Laptop Cooling Pad by using Eco-composite Material エコ複合材を用いたラップトップパソコン用冷却スタンドの設計	Pn Ervina Junaidi
10	2008	Low Power Computational Neural Network for User Authentication in Smart Environments ユーザー認証のための低出力のニューラルネットワークの研究	Pn Annie Joseph
11	2008	Handheld GPS and Mobile Satellite Received Signal Evaluation in the Equatorial Region 赤道地方におけるハンディタイプのGPSと携帯電話衛星の発信信号の調査	Dr Wan Azlan bin Wan Zainal Abidin
12	2008	Low Power Digital Signal Processing (DSP) Processor Design for Reconfigurable System-on-chip Application 変更可能チップオンシステムのための低出力DSP(デジタルシグナルプロセッシング)プロセッサの設計	Cik Shamsiah Suhaili
13	2008	Pelletization of Pepper Waste for Energy Generation エネルギー源としての胡椒残廃物ペレットの研究	Cik Siti Nor Ain Musa
14	2008	The Design Of High Performance Domino Logic 高性能ドミノ・ロジックの設計	Pn. Siti Kudnie Sahari
15	2008	Analytical Measurement and Visualization on Thermal Radiation Caused By Handheld Mobile Phones Towards Human Head's Model (Dry Phantom) And The Effect of Mobile Radiation Protector 人体頭部模型(ドライファントム)を用いた携帯電話による熱電磁波および、携帯電磁波プロテクターの効果に関する分析・計測と可視化	Pn. Dayang Azra Awang Mat
16	2008	Numerical Analysis of RF MEMS Capacitor with Accelerated Motion Effect for Low-Power Applications 低出力プログラム稼働効率向上のRF MEMS(マイクロマシン)コンデンサーに関する定量分析	Cik Shafrida Sahrani
17	2008	Development of Energy Efficient Raman Spectroscopy for Material Identification 材料識別用の高エネルギー効率ラマン分光器の開発	En. Aidil Azli bin Alias
18	2008	Feasibility of using Low Power GPS Receiver to study the Effect of Ionosphere on the Received Mobile Satellite Signal 低出力GPSレシーバーを用いた、携帯衛星の受信信号に対する電離層の影響についての研究	En.Mohamad Faizrizwan Bin Mohd Sabri Pn Rohana Sapawi
19	2008	Investigations on behavior and energy release of composites with different filler 複合材料と充填材の組み合わせによる特性とエネルギー放出量の調査	En. Noor Hisyam bin Noor Mohamed Pn Marini Sawawi
20	2009	Temporal Rainfall Pattern Development for Sarawak サラワクにおける一次的降雨パターンの研究	Mdm Rosmina Ahmad Bustami
21	2009	Offshore Wave Effects and Energy Dissipation at Sungai Sarawak and Sungai Batu Pahat Estuary Sungai Sarawak と Sungai Batu Pahat河口での沖に向かう波動効果とエネルギー消失	Norazlina Bt Bateni
22	2009	Experimental Evaluation of Different Insulation Material in Roofing System Under Tropical Climate 熱帯気候の屋根ふきシステムにおける種々の断熱材の実験的な評価	Mdm Mahshuri Yusof
23	2009	Designing Low Cost Electromagnetic Wave (EMW) Energy Absorber for Effective Anechoic Chamber Environment 実際のエコーの無い環境室に対する低コスト電磁石の波動エネルギー吸収装置の設計	Ms Kasumawati Lias

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
24	2009	Design and Development of Energy Efficient Turbine for Micro Hydro based on Sarawak Geographical Factors サラワクの地理的要因に基づくエネルギー効率の良いマイクロ水力タービンの設計と開発	Dr. Al-Khalid bin Hj Othman
25	2009	Reducing Energy Loss in Wireless LAN During Handover ワイヤレスLANにおけるエネルギーロスの低減	Mdm Ade Syaheda Wani Bt. Marzuki
26	2009	Low Methanol-Permeable and High Proton Conductivity Poly-vinyl Alcohol (PVA)/ Calcium Oxide (CaO) Composite Membrane for Direct Methanol Fuel Cell (DMFC) Applications ダイレクトメタノール燃料電池に適用するための低メタノール浸透性と高い導電率のポリビニールアルコールと酸化カルシウムの合成物の電解質膜	Nur Tahirah Razali
27	2009	Development of Cylindrical Solar Water Heater Using Different Collector Designs and Collector Materials 異なった収集設計と収集材料を用いた円筒型の太陽光熱を利用した水加熱器の開発	Nur Tahirah Razali
28	2010	Development of Non-Invasive Biomechanical Device for Club-Foot Medical Treatment 内反足治療の非侵襲性の生体力学的装置の開発	Shahrol Mohammaddan
29	2010	The Study of Vegetable Based Cutting Fluid Performance in Turning Process 回転プロセスにおける植物ベースの切削油剤特性の研究	Abang Mohammad Nizam bin Abang Kamaruddin
30	2010	Investigation on Energy Absorption Characteristics of Natural Fiber Composite 自然の繊維複合物のエネルギー吸収特性に関する調査	Noor Hisyam Noor Mohamed
31	2010 (再選考)	Design and Testing of a Simplified Reaction Turbines for a community micro hydro project in Long Anyat, Sungai Patah, Baram, Miri, Sarawak サラワク州ミリのロングAnyat、Patah川、バラム、コミュニティのマイクロ水力発電プロジェクトの簡易反動タービンの設計とテスト	Ir Dr. Mohd Shahril Osman
32	2010 (再選考)	Development of Real Time Related Construction Risk Indexes Via Both Quantitative and Qualitative Approaches to Improve Scheduling Techniques スケジューリング技術を改善する量的で質的なアプローチを経たリアルタイム相関建設リスク指標の開発	Prof FJ Putuhena Mdm Rosmina Ahmad Bustami Mr.Mohd Hafiz Zawawi
33	2011	Modeling the Effect of High Product Mix on Factory Performances 工場生産性に関する高複合生産の影響のモデリング	Mdm Shirley Johnathan Tanjong
34	2011	Ground Water and Surface Water Interaction Study at Pulau Salak Pulau Salakにおける地下水と地表水の相互作用の研究	Ms Nor Azalina Bt Rosli
35	2011	Analysis of Multi-Scale Microbial Fuel Cell for Simple Electrification in Rural Areas 田舎における簡易電化のためのマルチスケール微生物燃料電池の解析	Mr. Mohamad Iskandar Jobli
36	2011	Absorption of Toxic Heavy Metals Ions by Using Agricultural Wastes in Sarawak サラワク州での農業廃棄物を用いた有害重金属イオンの吸収	Mr. Mohd Farid Atan
37	2011	Development of Direct Power Control Space Vector Modulation (DPC-SVM) for Doubly Fed Induction Generator (DFIG) 二重給電誘導発電(DFIG)のためのダイレクトパワー制御空間ベクトル変調(DPC-SVM)の開発	Mr. Hazrul bin Mohamed Basri
38	2011	Improvements of Static and Dynamic Characteristics for High Performance Mobile Hard Disk Drives ハイパフォーマンス・モバイルハードディスクドライブの静的および動的特性の改善	Dr Mohd Danial Ibrahim
39	2011	Feasibility Study of Oil-Palm Waster-Derived Adsorbent for Removal of Pesticides from Water and Wastewater 水および廃水からの農業除去のためのオイルパーム由来の吸着剤についてのフィージビリティスタディ	Dr Ivy Tan Ai Wei
40	2011	Pelletisation of Agricultural Residues for Power Generation 発電用の農業残渣のペレット化	Mr. Nazeri Abdul Rahman
41	2011	Design of a Household Device Utilizing Bio Fuel (Pelletized Peat) バイオ燃料(ペレット化した泥炭)を活用した家庭用装置の設計	Dr. Siti Noor Linda

**5 Universiti Malaysia Sarawak (UNIMAS) マレーシア サラワク大学**

No	Year 助成年度	Research Theme 研究テーマ	Researcher 研究者
42	2011	Thermophysical Properties of Oil Palm Fibre and Clam Shell Powder Reinforced in Thermoplastic Matrix Composite 熱可塑性複合材料に強化したアブラヤシの繊維と、クラム貝殻粉末の熱物性	Ms. Siti Nor Ain Musa
43	2011	Improving Rice Milling Machine for Domestic Application 国内用精米機の改善	Mdm Ervina Junaidi
44	2011	Turning Agricultural By-Products into Solid Fuel for Energy Generation エネルギー発電のため、農業副産物の固形燃料への転換	Dr. Onni Suhaiza Selaman
45	2012	An Investigation on Concrete from PVA Treated Waste Oil Palm Shell (OPS) Aggregate PVA処理廃油アブラヤシ殻(OPS)集合体からのコンクリートの調査	Dr Delsye Teo Ching Lee
46	2012	Energy Harvesting Protocol for Wireless Sensor Network 無線センサー・ネットワークのためのエネルギー捕獲プロトコル	Dr Hushairi Zen
47	2012	Development of 'sesar unjur' (smoked shrimp) production in Belawai, Sarawak サラワク州Belawai地区の「sesar unjur」(スモーク・エビ)生産の開発	Dr Nordiana Rajae
48	2012	Construction and Installation of a Simplified Reaction Turbine for off-grid communities in Sarawak, Malaysia マレーシア、サラワクの送電網から外れたコミュニティのための簡易反動タービンの製造と設置	Martin Anyi
49	2012	Study of Back to Back Power Converter Switching Topology for Doubly Fed Induction Generator 二重に供給する誘導発電機のために位相切り替えるBTB(Back to Back)の動力変換機の研究	Abdul Hafiz bin Abdul Karim
50	2012	The Study of Pre-Heated Liquid Fuel - Air Mixing Chamber 予熱した液体燃料と空気との混合室の研究	Hisammuddin Afifi Huspi
51	2012	The Development of Power Optimization in Network-on-chip by Multi0Level Network Partitioning Technique 多重ネットワーク分割技術によるNoC (Network-on-Chip)の動力最適化の開発	Asrani Lit

**試験研究助成の累計件数(1993~2012)**

試験研究機関	助成累計件数
インドネシア大学	68件
バンドン工大	64件
ボゴール農大	83件
インドネシア科学院	3件
サラワク大学(UNIMAS)	51件
<b>合計</b>	<b>269件</b>



## あとがき

財団設立20周年を迎え、これまでに助成を受けられた方々から寄稿を頂いて20年間の活動を纏め20周年記念誌を発刊いたしました。これまで、南東アジア地域の天然ガス産出国であるインドネシア・マレーシア・東ティモールにおいて、教育・学術分野の助成事業を通して国際相互理解と国際親善の促進に努めてまいりました。

財団設立当初に目指した「教育・学術分野での助成を通して人材の育成に貢献する。民間企業としての大阪ガス特性を発揮した活動を展開する。長期的に継続する活動を行う。」を基本に21年間の長期に渡り事業を継続することができました。

これは、ひとえに関係各位の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

これからの20年に向かって、活動を充実させていきたいと考えております。  
今後とも当財団に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

専務理事 中島 浩  
事務局 児島 佳弘  
朝倉 宏子  
太田 亜樹子

### 公益財団法人 大阪ガス国際交流財団 設立20周年記念誌

発行 2013年12月  
発行者 公益財団法人 大阪ガス国際交流財団  
〒541-0046 大阪府中央区平野町四丁目1番2号  
電話 06-6205-4700 FAX 06-6205-5112  
編集制作 関西ビジネスインフォメーション株式会社  
印刷製本 東和印刷株式会社

©Osaka Gas Foundation of International Cultural Exchange  
2013 Printed in Japan

※記事・写真の無断引用、転載を禁じます。